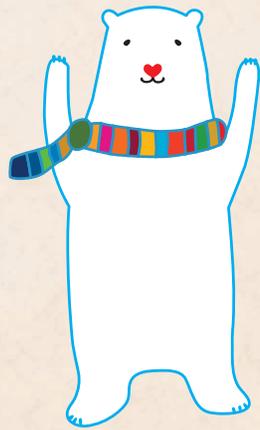




第11回

# 脱炭素 チャレンジカップ 2021

報告書



Zero Carbon  
Challenge Cup  
2021



脱炭素チャレンジカップは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



脱炭素チャレンジカップ

近年の気象の激変や災害の頻発などの状況を踏まえ、気候変動対策をより加速化するために、昨年度に「低炭素杯」から名称を改め、第2回目となる「脱炭素チャレンジカップ2021」を2月に開催いたしました。

この度は、新型コロナウイルス感染症の現状を鑑み、参加者およびスタッフの健康・安全面を考慮し、新たな形として、オンラインでの開催となりました。

本大会は、多種多様な団体（学校、企業、自治体、NPO など）が日々取り組まれている脱炭素社会の構築につながる活動を募集し、最終選考で自身の活動を発表することによって、取組のノウハウや情報を共有・発信し、さらなる連携や意欲を創出することで、豊かな脱炭素社会の未来を創造する「場」となることを目指しています。

「脱炭素チャレンジカップ2021」では、ダイレクトエントリーと地域大会（4地域大会）の計144団体の中から選ばれた28団体がステージ上のプレゼンテーション審査に臨まれ、環境大臣賞や文部科学大臣賞などの各賞を決定いたしました。

開催にあたっては本事業に賛同していただいた企業・団体の皆様からのご支援・ご協力をいただきました。

SDGs達成に向けて貢献



「脱炭素チャレンジカップは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。」

世界で気候変動問題が年々深刻化する中、「パリ協定」に基づき、世界の平均気温の上昇を産業革命前の2°C未満に抑え、脱炭素社会を構築することを我々は目指しています。

日本においても脱炭素社会の実現に向けて、社会全体での機運の醸成や効果的な対策への取組を強力に進めていく必要があります。

そのような状況の中、「脱炭素チャレンジカップ」では、様々なパートナーと出会う「場」を提供することによって、地域活動の活性化とネットワークの構築が促進され、あらゆる主体の連携が深まり、脱炭素かつ持続可能な地域づくりへの加速化が図られることを期待しています。

脱炭素チャレンジカップ SDGs 貢献 概要





## 脱炭素チャレンジカップ 2021 挨拶



脱炭素チャレンジカップ実行委員会委員長

小宮山 宏

皆さん! 「脱炭素チャレンジカップ 2021」のファイナルステージに、ようこそ!

実行委員長の小宮山宏です。

昨年、開催 10 年目を契機に、低炭素杯から「脱炭素チャレンジカップ」へとシフトアップしました。

そして、その私たちの決意を後押しするかのように、昨年、菅政権が、国の成長戦略の一翼として、2050 年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略を表明されました。

その柱として、「経済と環境の好循環」を掲げるとともに、2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすると所信表明演説で発表しました。

そして、海の向こうのアメリカでも、ようやく誕生したバイデン政権が、早速トランプ政権下で離脱した地球温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定」に復帰するための文書などに署名するなど、前政権からの政策の転換をアピールされています。

これまで歪だった、世界的な環境対策への道筋が開けることになりました。

私たちが、この世界的な流れ、日本の国内の動向に真摯に向き合い、持続可能な「脱炭素」に向けた動きがとにかく早急に必要だと考えています。

まずは、それぞれの立場で「脱炭素」に向けた活動に、気持ちと行動で取り組んでいく、具体的な「やってみよう」というアクションが必要なのです。

残念ながら、今年は全国的な新型コロナウイルスの影響によって、みなさまに集まっていたことが叶わず、一部、皆さんとリモートで繋いだ開催となりましたが、今年もこのコロナ禍に負けず、28 の団体による新たな「脱炭素」社会の構築に向けた取り組みが集まりました。

これらの個々のチカラが集結すれば、それこそ、地球規模での気候変動に立ち向かっていくことも夢ではないと、私は考えます。

さあ皆さん、それでは準備はよろしいでしょうか!

「脱炭素チャレンジカップ 2021」、スタートです!



環境副大臣

筈川 博義

「脱炭素チャレンジカップ 2021」の表彰式にあたり、環境省を代表して、一言、御挨拶を申し上げます。

本日は、28の団体の皆様によるプレゼンテーションが行われ、いずれの団体からも、地域に根ざし、創意工夫に満ちた素晴らしい取組が披露されたと伺っております。

プレゼンテーションをされた皆様におかれましては、大変お疲れ様でした。そして、文部科学大臣賞をはじめ、既に各賞を受賞されました皆様、誠におめでとうございます。

さて、2050年脱炭素社会の実現に向けては、企業や自治体、国民など、あらゆる主体が取り組むことにより、ライフスタイルを脱炭素型へと転換していくことが重要でございます。

そのためには、私たち一人ひとりが、気候変動の危機的な状況を正しく理解し、生活のあらゆる場面で、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など賢い選択「COOL CHOICE」を心がけ、気候変動対策を一層進めていく必要があります。

本日参加された皆様には、ここで学ばれた知恵をそれぞれの御地元でも共有していただき、広く地域の皆様に気候変動対策の自発的な行動を促していただき、気候変動対策の輪を、一段と拡げていってくださいますことを、心より御期待申し上げます。

結びになりますが、大変御多忙の中、堅達様には地球温暖化の危機的な状況と、脱炭素社会の実現にむけたパラダイムシフトの重要性についてわかりやすく御講演を頂き、誠にありがとうございました。また、気候変動対策について学びあい、連携の輪を拡げていくための「場」を全国各地にお作りいただいた小宮山先生はじめ実行委員の皆様、貴重なアドバイスを頂いた江守先生はじめ審査委員の皆様、御協賛・御協力いただいた企業・団体の皆様、縁の下からこのイベントを支えてくださった各地域の地球温暖化防止活動推進センターの皆様、そして、本日御参加の皆様方の今後ますますの御健勝と御活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。



文部科学省総合教育政策局社会教育振興総括官

寺門 成真

脱炭素チャレンジカップ 2021 表彰式にあたり、一言御挨拶を申し上げます。

本日、各賞を受賞される皆様、誠におめでとうございます。また、惜しくも入賞には至らなかった皆様におかれましても、それぞれの地域において、素晴らしい取組をされているものと承知しております。皆様の日頃からの御尽力に深く敬意を表します。

昨年十月、菅総理の所信表明演説において、「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言されました。まさに現在、地球温暖化防止を始めとする持続可能な社会の構築に向けた活動の必要性は、一層高まっております。

文部科学省としても、学校における環境教育の充実や、青少年教育施設における豊かな自然環境を活用した体験活動の推進をはじめ、ライフステージに応じた環境教育の推進に取り組んでいるところです。

この「脱炭素チャレンジカップ」は、地球温暖化防止に向けた取組に関する優れた取組やノウハウを全国に広げていくとともに、プレゼンテーションや資料展示等を通じて、互いに学び合うことにより、持続可能な社会の構築に繋がる、大変素晴らしい取組と考えております。

本日、御参加の皆様、特に小学校、中学校、高校等の皆様におかれましては、学校や地域における環境教育で学んだ様々な経験や知識を活かし、持続可能な社会の実現に向けて、脱炭素、地球温暖化防止に関わる活動に、今後もぜひ積極的に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

結びに、脱炭素チャレンジカップ 2021 の開催に御尽力いただきました小宮山実行委員長をはじめとする関係者の皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、本日御参加の皆様方の益々の御健勝と一層の御活躍を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。



## 開催概要

**日程** 2021(令和3)年2月9日(火) 10:00～17:00  
**開催方法** オンライン開催(審査会場:東京ウィメンズプラザ)  
**視聴料** 無料(事前登録制)  
**主催** 脱炭素チャレンジカップ実行委員会/委員長:小宮山 宏(株式会社三菱総合研究所 理事長)  
**共催** 一般社団法人地球温暖化防止全国ネット(以下「全国ネット」)  
 一般財団法人セブン・イレブン記念財団

**特別協賛** ユニチャーム株式会社、株式会社ニトリホールディングス、サラヤ株式会社  
**協賛** 一般社団法人日本 WPA、ユタコロジー株式会社、日本マクドナルド株式会社、(公財) SOMPO 環境財団、株式会社ウェイストボックス、チェックフィールド株式会社、脱炭素化支援株式会社、東部燃焼株式会社、ホテルネットワーク mito 株式会社森久、(有) アルファサービス、株式会社アクトリー、株式会社 i3experience、(株) TOGA、北越コーポレーション株式会社、劇的再生 HIROPIKA、(株) Pure Cycle いばらき

**協力** 株式会社タカラトミー、株式会社オルタナ、特定非営利活動法人気象キャスターネットワーク、木原木材店、こどもエコクラブ、ファインモーターズスクール、キリンホールディングス株式会社、社会福祉法人幸仁会 川本園、エコドライブ研究所

**後援** 環境省、文部科学省、プラチナ構想ネットワーク、国連広報センター  
**事務局** 一般社団法人地球温暖化防止全国ネット  
**視聴者数** 延べ1,600名



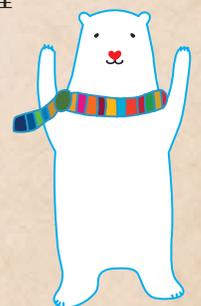
## 委員会のご紹介

### 実行委員会(順不同、敬称略)

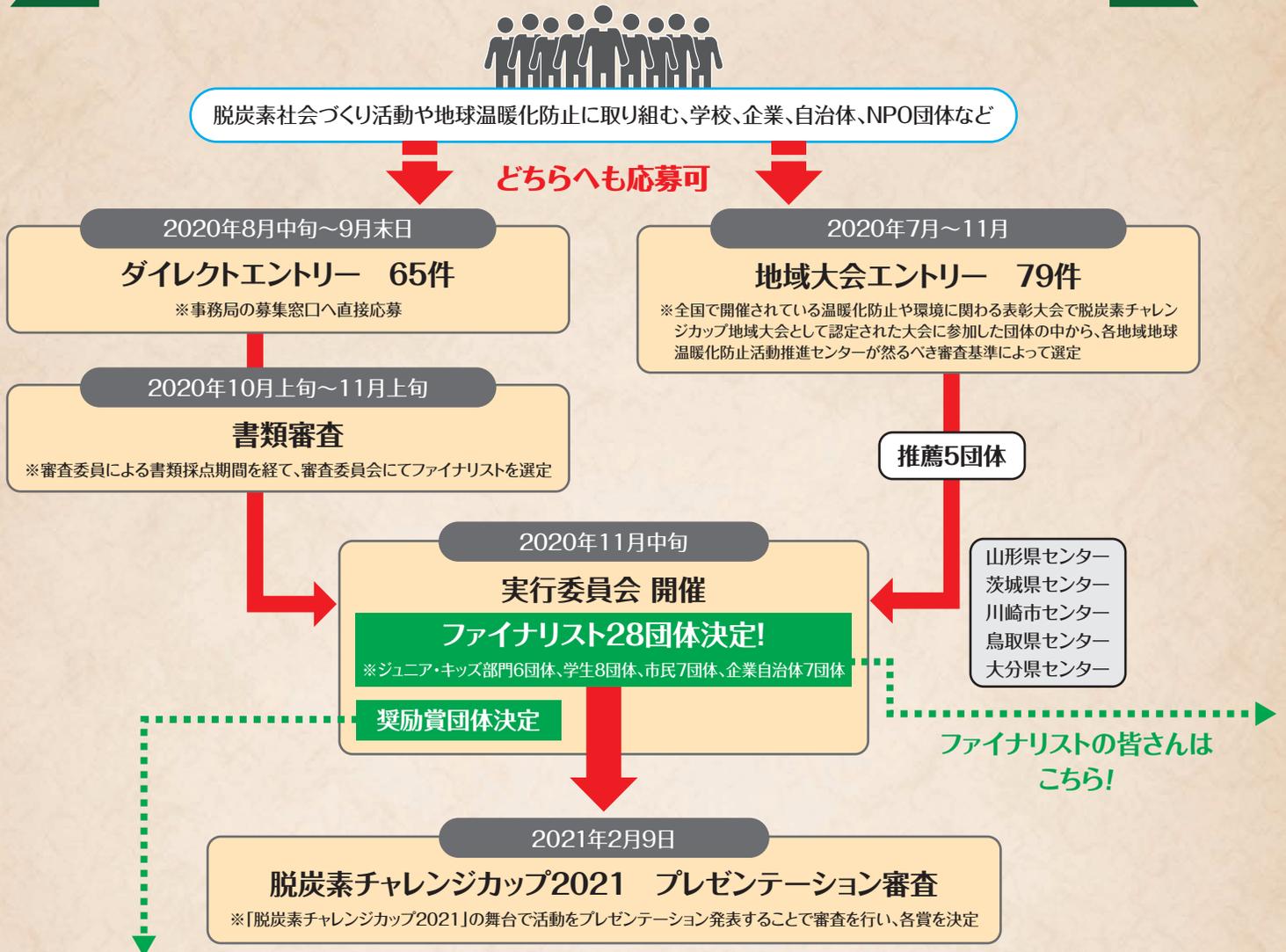
**委員長** 小宮山 宏 株式会社三菱総合研究所 理事長  
**副委員長** 川北 秀人 IIIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表  
 江守 正多 国立研究開発法人国立環境研究所 地球環境研究センター 副研究センター長  
**委員** 森永 仁 一般財団法人セブン・イレブン記念財団 事務局長  
 高村 ゆかり 東京大学 未来ビジョン研究センター 教授  
 山盛 英司 朝日新聞社 マーケティング本部 本部長  
 菊池 圭一 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 脱炭素ライフスタイル推進室長  
 高田 研 一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 理事長

### 審査委員会(順不同、敬称略)

**委員長** 江守 正多 国立研究開発法人国立環境研究所 地球環境研究センター 副研究センター長  
**副委員長** 尾山 優子 一般社団法人環境パートナーシップ会議 理事 事務局長  
**委員** 松井 敬司 一般財団法人セブン・イレブン記念財団 事務局次長  
 桃井 貴子 認定 NPO 法人気候ネットワーク 東京事務所長  
 岩谷 忠幸 オフィス気象キャスター株式会社 代表取締役  
 関根 透雄 ユニ・チャーム株式会社 ESG 本部 ESG 推進部 E&S グループ マネージャー代理  
 岩谷 博通 株式会社ニトリホールディングス SDGs 推進室 室長  
 代島 裕世 サラヤ株式会社 取締役 コミュニケーション本部 本部長  
 小川 勇造 一般社団法人日本 WPA 事務局長  
 斎藤 由紀 ユタコロジー株式会社 CSV 推進室 マネージャー  
 佐藤 孝治 公益財団法人 SOMPO 環境財団 事務局長  
 鈴木 修一郎 株式会社ウェイストボックス 代表取締役  
 森 摂 株式会社オルタナ 代表取締役 編集長  
 南 利幸 特定非営利活動法人気象キャスターネットワーク 理事長



## エントリー募集から「脱炭素チャレンジカップ2021」開催までの流れ



## 奨励賞団体とは？

脱炭素チャレンジカップ2021では、エントリー団体の中から、ファイナリストに次ぐ優秀な成績を収めた団体に対し、「奨励賞」を贈呈しています。今年度は、以下の奨励賞受賞12団体に対し、2020年11月に表彰状を贈りました。

部門	都道府県	団体名称	取組名
市民部門	奈良県	NPO法人市民省エネ・節電所ネットワーク	みんなで進める「市民節電所」で、脱炭素社会を目指そう!
	大分県	チーム2℃おおいだ協議会	市民一体となった脱炭素社会を目指して!
	徳島県	NPO法人環境とくしまネットワーク	せとうち鳴門「ゴミ箱になった海」再生化プロジェクト
	岩手県	一関地球温暖化対策地域協議会	脱炭素コンテスト In いちのせき
	島根県	緑パワーしまね	地域のエネルギーを地域住民の手で創り出すプロジェクト
	佐賀県	自然と暮らしを考える研究会	地域の自然環境(水車の回る水辺)を活用した環境教育支援
企業・自治体部門	長野県	合資会社宮島酒店	地元産契約栽培米を用いた低精白の純米醸造酒
	千葉県	直立キング風太 with 千葉ナレンジャー	再生可能エネルギーが大活躍!展望デッキオアシス化プロジェクト
	青森県	株式会社 小坂工務店	再生可能エネルギーを活用したリユース・リサイクルの普及
	愛知県	加山興業株式会社	加山興業の脱炭素イズム
学生部門	宮城県	宮城県農業高等学校科学部チームsmiles	桜の新品種開発で目指せ!脱炭素～被災校10年目の挑戦～
ジュニア・キッズ部門	神奈川県	横浜市立相沢小学校	あいざわのまちSDGs宣言

## ファイナリスト28団体（発表順）

部門	発表順	都道府県	団体名称	取組名
学生部門（8件）	1	兵庫県	ソフトエネルギー研究ユニット	人と自然の豊かな関係をぎづく脱炭素社会実現に向けて
	2	静岡県	富士宮高校会議所	マスマス元肥（ゲンピ）を使って富士宮を元気にしよう。
	3	愛知県	愛知県立南陽高等学校 Nanyo Company部	食品ロス削減で意識を変えるん脱炭素!
	4	大分県	大分県立玖珠美山高等学校 地域産業科 チーム野菜	パークを活用した循環型農業への展開
	5	静岡県	学校法人誠心学園浜松開誠館中学校高等学校	地球と未来を守れ!気候マーチで脱炭素社会を訴えよう!
	6	宮城県	宮城県農業高等学校 農業経営者クラブ	「脱炭素」で作る被災地オレンジロード
	7	東京都	クリエイティブクッキングバトルオンライン KAWA 実行委員会	クリエイティブクッキングバトルオンラインKAWA
	8	徳島県	緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチーム	資源循環型肥料の開発で地球を救う、環境社会イノベーション!
ジュニア・キッズ部門（6件）	9	福岡県	大牟田市立明治小学校	大牟田ハッピータウンプロジェクト 美しいふるさとを未来へ残そう
	10	大阪府	八尾市立曙川小学校	輝く笑顔「みんなでつくるエネルギー教育」
	11	佐賀県	佐賀市立鍋島中学校	使い捨てカイロで水路浄化と森づくりへ
	12	茨城県	田中学園・緑丘学園ゼロカーボン委員会	緑丘学園・田中学園「ゼロカーボンにむけた取り組み」
	13	東京都	東京都杉並区立西田小学校	ユネスコスクール「NISHITA」の挑戦
	14	大阪府	せいわエコクラブ	「水はどこから」 私たちのできる事を続ける!
企業・自治体部門（7件）	15	北海道	株式会社土谷特殊農機具製作所	究極のCO <sub>2</sub> 排出ゼロの低温貯蔵庫「アイスシェルター（氷室）」
	16	滋賀県	～ひこねの金物や～株式会社ニシダ	この美しい日本の自然と、未来の子供たちの笑顔を守るためには
	17	宮城県	宮城県富谷市	とみやからはじまる未来の暮らし ～脱炭素×水素エネルギー～
	18	千葉県	一般社団法人やちよ未来エネルギー	コドモライブプロジェクト
	19	茨城県	北越コーポレーション株式会社 関東工場勝田工務部	バイオマスエネルギーの活用によるCO <sub>2</sub> ゼロへの挑戦
	20	神奈川県	株式会社音力発電	日本発・世界初の波力発電技術、「循環型波力揚水発電」の紹介
	21	大分県	モリショウグループ	木質バイオマス発電を核としたSDGsへの取り組み
市民部門（7件）	22	長野県	飯山市雪エネルギー検討会議	雪室を利用した地域の特色ある商品開発
	23	茨城県	森の守り人	未来の子ども達と元気な森づくりで「脱炭素!」
	24	東京都	NPO法人足元から地球温暖化を考える 市民ネットえどがわ	民家を改造!オフグリッドハウス「松江の家」
	25	愛知県	あおぞら学童保育クラブ	あおぞら学童保育クラブ木造施設建設プロジェクト
	26	埼玉県	NPO法人さやま環境市民ネットワーク	狭山市内各所で、市民参加のマイタウンソーラー発電所設置!
	27	神奈川県	株式会社パスポート 社会福祉法人はぐるまの会	循環型社会に向けた福祉農園プロジェクト
	28	山形県	ドリームやまがた里山プロジェクト	自動車の廃材を活用したバリアフリービーチの構築

ファイナリスト28団体（発表順）

10:00~10:12

開会

- 開会の挨拶  
脱炭素チャレンジカップ実行委員会  
委員長 小宮山 宏
- ファイナリスト紹介
- 審査委員紹介

10:12~13:15

ファイナリスト28団体による  
プレゼンテーション発表

発表時間 1団体4分

- 10:12 学生部門（8団体）
- 11:05 ジュニア・キッズ部門（6団体）
- 11:46 企業・自治体部門（7団体）
- 12:33 市民部門（7団体）

13:30~14:00

講演

「本気でめざそう！脱炭素社会」

- 講演者  
堅達 京子さん  
NHKエンタープライズ  
エグゼクティブ・プロデューサー

14:00~14:35

パネルディスカッション

「脱炭素化は実現できるの？！  
～気候変動に立ち向かう  
トップランナーたち～」

- ファシリテーター  
川北 秀人（実行副委員長）
- パネリスト  
堅達 京子さん  
脱炭素チャレンジカップ協賛企業

14:35~15:15

オンラインワークショップ

「特別企画グル～プセッション！  
地域における脱炭素化への挑戦！」

- 出演者：ファイナリスト28団体、脱炭素チャレンジカップ協賛企業、地域温暖化防止活動推進センター

15:30~16:45

表彰式・閉会

- 主催者挨拶  
脱炭素チャレンジカップ  
実行副委員長 川北 秀人
- 審査結果発表
- 審査講評  
審査・企業／団体賞選考委員会  
審査委員長 江守 正多
- 閉会の挨拶  
一般社団法人地球温暖化防止全国ネット  
理事長 高田 研





## ステージプログラム：講演（13:30～14:00）

### 「本気でめざそう！脱炭素社会」

堅達 京子さん

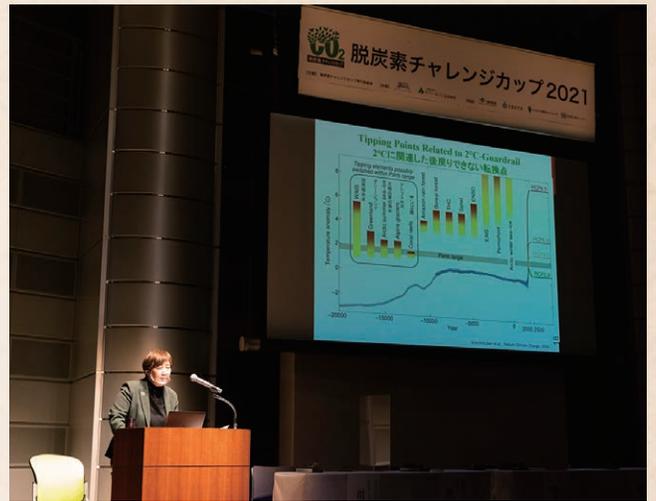
(NHKエンタープライズ  
エグゼクティブ・プロデューサー)



NHK入局以来、報道番組のディレクターとしてNHKスペシャルやクローズアップ現代を制作。2006年からプロデューサー。環境キャンペーンの責任者を務め、気候変動や脱炭素をテーマに数多くのドキュメンタリーを放送。近著に「脱プラスチックへの挑戦」。日本環境ジャーナリストの会副会長。

前身の低炭素杯で、副審査委員長を務めておられました堅達氏をお招きして、ご講演を頂きました。

世界がグリーンリカバリーに動く中、日本も2050年CO<sub>2</sub>実質ゼロの宣言を受け、パラダイムシフトへの道を探ります。こちらのご講演内容は、脱炭素チャレンジカップのYouTubeチャンネルより、ご覧いただけます。



## ステージプログラム：パネルディスカッション（14:00～14:35）

### 「脱炭素化は実現できるのか?!～気候変動に立ち向かうトップランナーたち～」

脱炭素チャレンジカップ協賛企業のサステナビリティ等のご担当の方々に堅達氏が加わり、脱炭素な社会の構築に向けて、ディスカッションをして頂きました。

脱炭素化への取組や、それを実行するまでのステップなどについて話し合いを行いました。こちらの様子は、脱炭素チャレンジカップのYouTubeチャンネルより、ご覧いただけます。



ファシリテーター  
川北氏（実行副委員長）



セブン・イレブン記念財団  
中村氏



ユニ・チャーム株式会社  
橋本氏



サラヤ株式会社  
秋吉氏



日本マクドナルド株式会社  
岩井氏



株式会社NHKエンタープライズ  
堅達氏



オンラインワークショップ (14:35~15:15)

「特別企画グル〜プセッション!地域における脱炭素化への挑戦!」

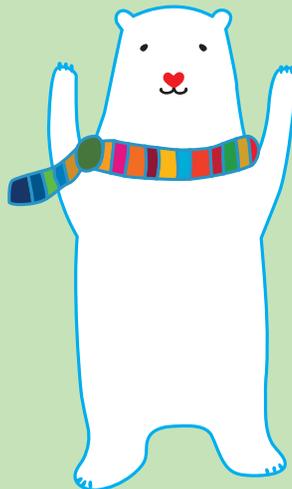
ステージプログラムの講演、パネルディスカッションの内容を参考に、ファイナリスト 28 団体と脱炭素チャレンジカップ企業/団体のご担当の方々が、6 グループに分かれて意見交換を行いました。



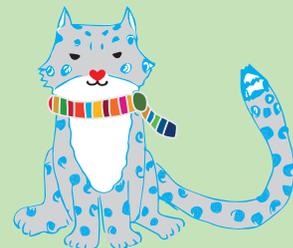
マスコットキャラクターの愛称が決定!

前身の低炭素杯 2017 から登場して早 4 年経ちましたが、満を持して、愛称募集をしました。沢山の皆様から、愛称の応募を頂き、「クリームくん」に決定しました!

愛称理由: クリームは、気候・天候を意味するドイツ語、イタリア語です。今日の気候変動の原因である地球温暖化を防止し、誰もが安全に健康で生活できる環境(気候)を目指していく意味で命名しました。



新キャラ: ユキヒョウの「ゆきまるくん」登場! 「幻の動物」とも呼ばれるユキヒョウを絶滅させないメッセージを込めて、「ゆきまるくん」は生まれました!





## 脱炭素チャレンジカップ2021表彰式



全ファイナリストのショット

ファイナリストのよるプレゼンテーション発表後に開催された「審査・企業/団体賞選考委員会(審査委員会)」において、脱炭素チャレンジカップ2021の受賞団体を決定しました。

表彰式では、環境大臣賞グランプリ(1団体)、金賞(各部門から1団体、計4団体)の受賞団体が発表され、笹川博義環境副大臣より各受賞団体に賞状が授与されました。

また、文部科学大臣賞(社会活動分野、学生活動分野から各1団体、計2団体)では、寺門成真文部科学省総合教育政策局社会教育振興統括官より各受賞団体に賞状が授与されました。

企業/団体賞については、各賞提供のプレゼンターから受賞団体(10団体)へ、審査委員特別賞は尾山審査副委員長から受賞団体(1団体)へ、オーディエンス賞は小宮山実行委員長から受賞団体(2団体)へ賞状等が授与されました。

### 表彰盾について

今大会から、脱炭素チャレンジカップの協力団体でもある障害福祉サービス事業所の川本園に制作して頂きました。埼玉県内の間伐材を活用した見開きの木製盾になります。



川本園は、昭和54年開所以来、知的障害を持った人に仕事を提供し、時代の流れにあわせて鬼瓦製造、竹箒や建仁寺垣や割り箸などの竹工加工品の製造に取り組んでいます。

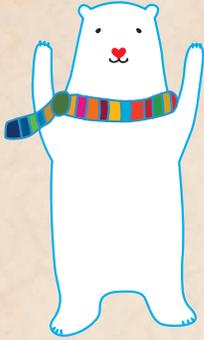
現在は、様々な木工製品を埼玉県産の松・杉を原材料として製品を作っています。「森のめぐみ・しごと」をキャッチフレーズに、障害者の方々が力強く働ける環境作りと、自立に向けた支援をめざしています。



脱炭素チャレンジカップ2021受賞者一覧

環境大臣賞 グランプリ

おめでとうございます!



モリショウグループ

環境大臣賞 金賞 学生部門



学校法人誠心学園浜松開誠館  
中学校高等学校

環境大臣賞 金賞 ジュニア・キッズ部門



八尾市立曙川小学校

環境大臣賞 金賞 企業・自治体部門



株式会社土谷特殊農機具製作所

環境大臣賞 金賞 市民部門



NPO法人さやま環境市民ネットワーク



## 脱炭素チャレンジカップ2021受賞者一覧

### 文部科学大臣賞 社会活動分野



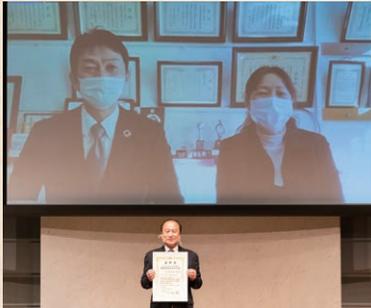
飯山市雪エネルギー検討会議

### 文部科学大臣賞 学校活動分野



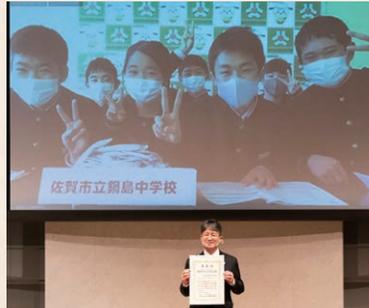
田中学園・緑丘学園ゼロカーボン委員会

### セブン-イレブン記念財団 最優秀地域活性化賞



大牟田市立明治小学校

### ユニチャーム 最優秀やさしきでえささえる賞



佐賀市立鍋島中学校

### ニトリ 最優秀夢・未来賞



宮城県農業高等学校  
農業経営者クラブ

### いのちをつなぐ SARAYA賞



富士宮高校会議所

### 日本WPA 最優秀未来へのはばたき賞



せいわエコクラブ

### ユタコロジー 最優秀チャレンジ賞



大分県立玖珠美山高等学校  
地域産業科チーム野菜

脱炭素チャレンジカップ2021受賞者一覧

SOMPO環境財団  
最優秀わくわく未来賞



東京都杉並区立西田小学校

ウェイトボックス  
最優秀CO<sub>2</sub>の見える化賞



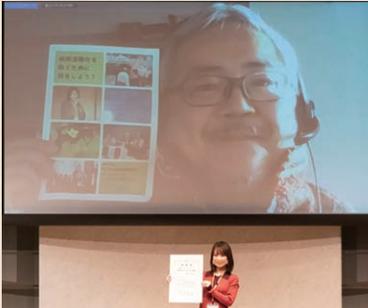
愛知県立南陽高等学校  
Nanyo Company 部

オルタナ  
最優秀ストーリー賞



株式会社音力発電

気象キャスターネットワーク  
最優秀市民・学校エコ活動賞



NPO 法人足元から地球温暖化  
を考える市民ネットえどがわ

審査委員特別賞



北越コーポレーション株式会社  
関東工場勝田工務部

おめでとう  
ございます!



マクドナルドオーディエンス賞



ソフトエネルギー研究ユニット



せいわエコクラブ



優秀賞

ファイナリストに選ばれたことを称賛し、実行委員会から以下の皆様へ優秀賞の木製メダルを贈呈いたしました。

- クリエイティブクッキングバトル  
オンライン KAWA 実行委員会
- 緑のリサイクルソーシャル  
エコプロジェクトチーム
- 森の守り人
- あおぞら学童保育クラブ
- 株式会社パスポート  
社会福祉法人はぐるまの会
- ドリームやまがた里山プロジェクト
- ~ひこねの金物や~株式会社ニシダ
- 宮城県富谷市
- 一般社団法人やちよ未来エネルギー





## ファイナリスト紹介

企業・自治体部門

環境大臣賞 グランプリ

### 木質バイオマス発電を核とした SDGs への取り組み

#### モリショウグループ

〒877-1371 大分県日田市諸留町2813番地22  
☎0973-26-0850 <http://www.morisho.co.jp/>



山林未利用材（間伐材・林地残材等）を活用した木質チップを燃料とするバイオマス発電事業で作られた電気を、市内の全小中学校や公共施設等に供給する「電力の地産地消モデル」を実現しています。発電時に発生する温排水は農業への熱利用として隣接するいちご農家のビニールハウスへ供給しています。また、自社工場に供給する電気は非化石証書の活用により再エネ 100% を実現しています。



#### 審査コメント

再生可能エネルギーは脱炭素化に向けた鍵であり、本事業では燃料となる木製チップを海外からの輸入や無計画な伐採に頼るのではなく、地域での間伐材を利用することで、持続可能な取組になっています。まさに「脱炭素チャレンジカップ2021」の環境大臣賞グランプリにふさわしい取組だと思いました。電力の地産地消モデルとして、脱炭素社会を目指して、これからも他地域のお手本となることを期待しています。

審査委員長 江守 正多

#### 受賞者コメント

この度は、環境大臣賞グランプリをいただき、まことにありがとうございます。私たちは、創業時から地域の基幹産業である林業の発展に寄与しながら、資源を有効活用しリサイクルを進めていくことを考えて事業を行ってきました。間伐材や木質系の廃棄物を自ら利用して発電し、地域の公共施設や小中学校に供給することで、CO<sub>2</sub>やゴミを削減するだけでなく、地域の皆様に山林の持つエネルギーを実感していただける点を評価していただいたのではないかと思います。今回の受賞で、これまでの取組の方向性に改めて確信が持てましたので、今後もこれまでの取組を更に改善し、子どもたちに素晴らしい自然や環境を引き継げるよう努力してまいります。

## ファイナリスト紹介

 学生部門 環境大臣賞 金賞 (学生部門)

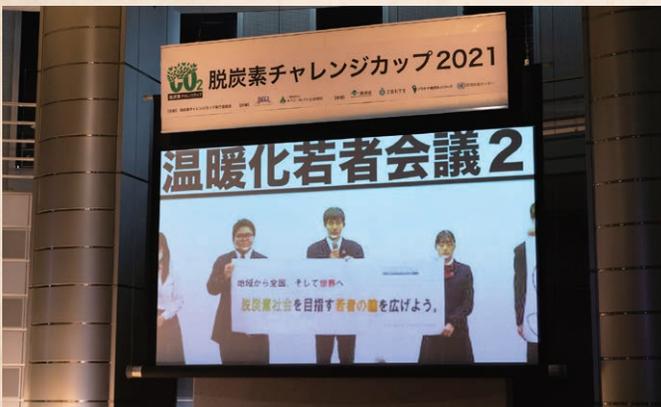
## 地球と未来を守れ！気候マーチで脱炭素社会を訴えよう！

## 学校法人誠心学園浜松開誠館中学校高等学校

〒430-0947 静岡県浜松市中区松城町207-2

☎053-456-7111 <https://www.facebook.com/kaiseikanseitokikaku/>

2019年9月20日に世界中で脱炭素社会・地球温暖化対策を訴える「気候マーチ」が行われました。気候危機について学習していた本校生徒が、この活動を広め、より多くの人々に気候危機を知ってもらおうと「気候マーチ」を浜松市内で生徒400人規模で行いました。2回目を同年12月に行いました。今年度はコロナ禍の中、オンラインで全校生徒が参加し脱炭素社会や気候危機を訴える動画メッセージを作成しました。



## 審査コメント

「気候マーチ」自体は直接的なCO<sub>2</sub>排出の削減ではありませんが、高校生が問題に対して声をあげていることが素晴らしいと思います。プレゼンテーションでは、特に気候変動への危機感がはっきりと感じられるとともに、皆で前向きに取り組んでいく姿勢が高く評価されました。また、今回の受賞が、多くの次世代の方々にとって脱炭素化に向けた取組のヒントになることを期待しています。

審査委員長 江守 正多

## 受賞者コメント

この度は、環境大臣賞・金賞(学生部門)をいただき誠にありがとうございます。気候マーチを実施したときは、本校に私たちの思いが伝わるだろうかと不安になりました。それでも、2050年の脱炭素社会実現に向けて、あと10年が勝負だと知ってほしくて勇気を出して行動しました。脱炭素チャレンジカップでは、私たちの行動が高く評価されたことをうれしく思っています。特に全体講評では、江守正多審査委員長から「危機を訴えることもとても大切なことだ」というコメントをいただき、私たちがやってきたことは間違っていないと確信しました。これを励みにして、浜松開誠館SDGs部は今後も活動を続けていきたいと考えています。



## ファイナリスト紹介



ジュニア・キッズ部門

環境大臣賞 金賞 (ジュニア・キッズ部門)

### 輝く笑顔「みんなでつくるエネルギー教育」

#### 八尾市立曙川小学校

〒581-0028 大阪府八尾市八尾木東2-28

☎072-992-3331 <https://www.city.yao.osaka.jp/0000018402.html>



人が乗れるソーラカー、ソーラーパネルを活用したゲンジボタルの完全養殖、自転車で発電できるイルミネーション、エネルギーについて楽しんで学べる落語絵本「発電お好み焼き横丁」。「あきらめなければ夢は叶う」を合言葉に、さまざまなプロジェクトに取り組んできました。地球温暖化問題とエネルギー問題は切っても切り離せない問題です。そのエネルギーについて楽しみながら学べるように、地域や保護者と取り組んだ実践です。



#### 審査コメント

「あきらめなければ夢は叶う」を合言葉に、子供たちが主体となってエネルギーに関わる様々なプロジェクトを行い、子供たちが発案したことを地域や保護者が連携しながら実現し進めていることが素晴らしいと思います。また、授業の中でもSDGsについて取り組んでおり、今後の展開の広がり期待しています。

審査委員長 江守 正多

#### 受賞者コメント

エネルギー環境教育に地域や団体と協力して取り組みました。ソーラカーは府立堺工科高校と協力して作りました。ホテルを育てるビオトープの太陽光パネルは地域のお父さんたちが設置してくれました。保護者の協力で作った自転車発電イルミネーションはコロナ禍で暗かった地域を明るく輝かせてくれました。プロジェクトを進めるにあたり、たくさんの困難な壁がありましたが、子ども、教師、保護者、地域、行政が「あきらめなければ夢は叶う」を合言葉に、力を合わせて達成しました。みんなの力が集まれば、大きな力になることを学んだ子どもたちは、脱炭素社会の実現のために、「あきらめなければ夢は叶う」を信じてこれからも努力を続けます。

## ファイナリスト紹介

企業・  
自治体部門

環境大臣賞 金賞 (企業・自治体部門)

究極の CO<sub>2</sub> 排出ゼロの低温貯蔵庫「アイスシェルター (氷室)」

株式会社土谷特殊農機具製作所

〒080-2461 北海道帯広市西21条北1丁目3番2号

☎0155-37-2161 <http://www.tsuchiyanoki.com>

弊社は約 35 年前から氷を使うアイスシェルターの低温貯蔵技術に取り組み、道内 20 棟海外 1 棟の実績と国内外で特許取得している。地域再生可能エネルギーを活用、地域の食材・食品の付加価値を高める技術展開をしており、その中核がアイスシェルターで、CO<sub>2</sub> を排出しない低温貯蔵庫である、自然氷の冷熱エネルギーを、地域の基幹産業である農業に取り入れ融合することで、新しい CO<sub>2</sub> 削減の地域産業を生み出すものである。



## 審査コメント

地域での再生可能エネルギーの活用は今後とても重要であり、化石燃料を利用せず、また多大な電力を消費せずに、長期的に食品を貯蔵できる技術開発は素晴らしいです。そして、アイスシェルターと地域の農業を連携させることで、新しい脱炭素な地域農業を生み出しています。未利用熱エネルギーの技術開発という意味でもさらなる発展に期待しています。

審査委員長 江守 正多

## 受賞者コメント

この度は、脱炭素杯チャレンジカップ 2021 において、環境大臣賞金賞という素晴らしい賞をいただき、誠にありがとうございます。寒地の地域資源である冷気を利用したアイスシェルターをご理解いただき、その取り組みを高く評価いただき大変光栄です。アイスシェルター (氷室) は、究極の CO<sub>2</sub> 排出ゼロの低温貯蔵庫で、国内のみならず世界の寒冷地で氷を利用し、ランニングストがかからず再生可能な自然エネルギーを使うものです。今回の受賞を糧に、低炭素杯 2015 ファイナリストに選ばれた家畜ふん尿処理施設「バイオガスプラント」とともに、当社の CO<sub>2</sub> 削減事業展開に弾みをつけ、脱炭素社会の実現に取り組み、気候変動対策、地球温暖化防止を目指します。



## ファイナリスト紹介



市民部門

環境大臣賞 金賞 (市民部門)

### 狭山市内各所で、市民参加のマイタウンソーラー発電所設置!

#### NPO法人さやま環境市民ネットワーク

〒350-1331 埼玉県狭山市新狭山1-13  
<http://www.sayama-kankyo.org/>



当団体は、2010年度から地域の公益団体が所有する建物に、太陽光市民共同発電所を設置する活動を行っている。市民、企業等から寄付を集め、さらに埼玉県の補助金等を活用し、自治会館に太陽光発電を設置している。現在4号機まで設置しており、累計太陽光パネル19.7kw、年間11トンのCO<sub>2</sub>削減を実現している。さらに設置した施設では、定期的に環境教育を行い、地域の環境、防災の拠点づくりを行っている。



#### 審査コメント

脱炭素社会に向けて、市民や様々な団体が協働し、環境まちづくりを推進する取組を実施していることが素晴らしいと思います。太陽光市民共同発電所を設置する活動は、持続可能な循環型社会の構築に寄与することであり、本取組が全国での参考モデルになることを期待します。

審査委員長 江守 正多

#### 受賞者コメント

国が脱炭素に大きく舵を切りその動きが活発化しています。私たちはマイタウンソーラー発電所を市内公益施設4カ所に2010年から設置してきました。そして何よりソーラー発電の必要性や、誰にでもできる省エネ方法をPRし市民に分かり易い形で奨めてきました。一方、近海の水温上昇も進み水蒸気量が増えたことによる集中豪雨も増え、地域の川が氾濫を繰り返すなど温暖化の影響も顕著になってきました。しかしながら、市民の反応は時が過ぎると忘れてしまうことも多いようです。2021年脱炭素チャレンジカップで環境大臣賞金賞を頂いたことを契機に、私たちは益々期待に応えて行かなければならないと考えております。

## ファイナリスト紹介



市民部門

文部科学大臣賞 社会活動分野

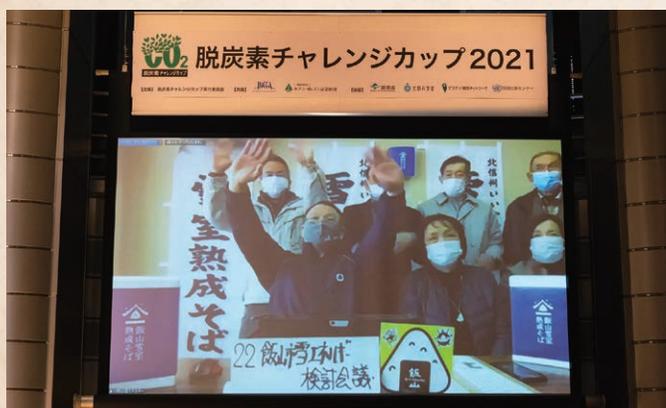
## 雪室を利用した地域の特色ある商品開発

## 飯山市雪エネルギー検討会議

〒389-2292 長野県飯山市大字飯山1110-1

☎0269-62-3111 <https://www.city.iiyama.nagano.jp/>

「雪室」は一切の電気エネルギーを使用せず、外気が  $-20^{\circ}\text{C}$  でも  $+40^{\circ}\text{C}$  でも年間を通し、 $1\sim 3^{\circ}\text{C}$ 、湿度  $98\sim 100\%$ 。エコで特殊な環境の「雪室」を利用し、「熟成雪室そば」を筆頭にお酒や農産物に付加価値を創造し、現地に来なければ味わえない「いいやま雪室御膳（仮称）」をつくり、雪のエネルギーを地域の特産と結びつけ、付加価値を創造し、地域の活性化を図りたい。



## 審査コメント

雪氷熱エネルギーは、 $\text{CO}_2$ を排出しないクリーンな未利用エネルギーとして注目されます。飯山市では、雪室を利用し、農産物等の鮮度保持や糖度増加として、貯蔵することで付加価値が生まれることを実証しました。そこで、飯山市産のそば粉を活用して、「飯山雪室熟成そば」が商品化されたことは素晴らしいです。地域でのエネルギー自給や地域振興に向け、持続可能なビジネス展開が期待されます。

審査委員長 江守 正多

## 受賞者コメント

この度は、脱炭素チャレンジカップにおいて文部科学大臣賞（社会活動分野）という素晴らしい賞をいただき、誠にありがとうございました。当検討会議に属するメンバーや下高井農林高校そば班と共に、環境のこと、地域活性などを学び考えながら取り組んでいたことが評価されたと思うと、今回の受賞を大変ありがたく感謝するとともに、これを励みに今後も活動を広げていきたいと思っております。

まずは今回のプレゼンで発表した「真夏のいいやま雪室まつり」の実施に向けてまた走り始めます。開催の折には、夏の信州飯山へ夏でも美味しい「雪室熟成そば」を食べに来て、雪室体験を通して皆さんに脱炭素社会を考えるきっかけにいただければ幸いです。



## ファイナリスト紹介



### 文部科学大臣賞 学校活動分野

## 緑丘学園・田中学園「ゼロカーボンにむけた取り組み」

### 田中学園・緑丘学園 ゼロカーボン委員会

〒310-0913 茨城県水戸市見川町2582-15  
☎029-243-0840 <http://www.mito-eiko.ed.jp>



2014年から学校敷地と隣接県有地で50年前に生息していたホタル再生活動を開始。2018年に茨城県・セブンイレブン記念財団と3者協定の締結がなされ、休耕田7haを里山にする茨城セブンの森がスタート。地域団体と連携して取り組んでいる。更に、日本一のエコ学園を目指した環境SDGsの実践として、生徒がゼロカーボン委員会を結成してうちエコ診断を広めている。2020年度は生徒・教員100世帯が実施した。



#### 審査コメント

生徒が主体となってゼロカーボン委員会を立ち上げ、うちエコ診断を活用してCO<sub>2</sub>排出を削減する、一体感をもった取組は素晴らしいです。また日頃から、ホタル再生整備活動を行うなど積極的な環境保全活動も行われ、学校活動の域を超えた取組は、地域の担い手を育てる活動となることを期待しています。

審査委員長 江守 正多

#### 受賞者コメント

この度は当学園の取り組みに多大なるご評価を賜り、文部科学大臣賞(学校活動分野)という非常に栄誉ある賞をいただきましたこと、大変光栄に存じます。私たちの環境活動は、「英宏の泉 ホタル再生プロジェクト」から出発しました。現在ではその活動の幅を徐々に広げ、世界的な視野から環境保全活動に取り組むべく、独自に「ゼロ・カーボン委員会」を立ち上げるに至りました。啓発活動の一環として行っている「うちエコ診断」をはじめとして、子どもたちへの環境教育とともに、「CO<sub>2</sub>排出ゼロ」を目指した活動を全学園あげて実践しています。これからも様々な活動を通して、脱炭素社会達成へ向けより一層邁進してまいります。

## ファイナリスト紹介



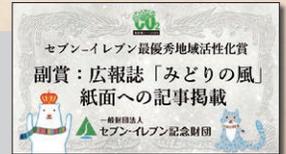
ジュニア・キッズ部門

セブン-イレブン記念財団 最優秀地域活性化賞

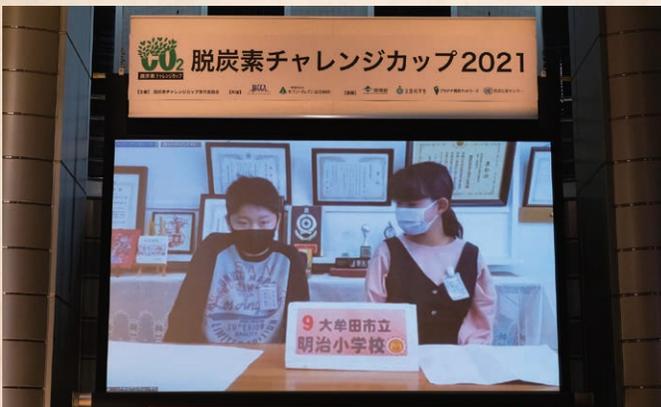
## 大牟田ハッピータウンプロジェクト 美しいふるさとを未来へ残そう

## 大牟田市立明治小学校

〒836-0012 福岡県大牟田市明治町2丁目21番地1

☎0944-53-6017 <http://www.e-net21.city.omuta.fukuoka.jp/meiji-es/>

SDGsの目標7、項目11の達成に向け、エネルギーや自然・環境への関心を深め、「省エネ・省資源」「自然・環境の保持・美化」を実践できる児童を育成するために、各学年の発達段階に応じて様々な取り組みを行っている。「緑のカーテンづくり」「ソーラークッキング」「5校合同川プロジェクト」等、体験的な活動を通して、自分事としてエネルギー環境について課題をとらえ、問題を解決する子供たちの姿が見られる。



## 審査コメント

小さな身体に無限の可能性を秘めている子供たち。各学年での「環境問題」との触れ合い、学び合いは子供たちと自然環境の距離をぐっと近づけ、これからの時代に必要不可欠な「自ら考え、行動できる力」を育てていました。そして、その隣には子供たちを信じ過大な手助けをせずにサポートする大人たちがいました。又炭鉱の町として大牟田市の施設を利用したエネルギー学習など、自分の住んでいる町について学び、脱炭素社会について考える機会も地元を大切にしている子供たちを育てるという「美しいふるさとを未来に残そう」という取組みであることを評価させていただきました。

一般財団法人セブン・イレブン記念財団 事務局次長 松井 敬司

## 受賞者コメント

この度は、「セブン・イレブン記念財団最優秀地域活性化賞」に選出頂き、誠にありがとうございました。子供達が学習したことや日頃から取り組んでいることに価値づけて頂いたことを大変うれしく思っています。他団体様の発表も大変興味深く、様々なところで取組が行われていることを知り、大変刺激になりました。今後も、全校のみんなで自分達が取り組んでいることが地球環境保全につながっていることを意識させながら、脱炭素に関する取組を続けていきたいと考えています。



## ファイナリスト紹介



ジュニア・  
キッズ部門

ユニ・チャーム最優秀やさしさでささえる賞

### 使い捨てカイロで水路浄化と森づくりへ

#### 佐賀市立鍋島中学校

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島一丁目19番1号

☎0952-30-5811 <https://www.education.saga.jp/hp/nabeshima-j/>



本校は嘉瀬川下流に位置する。本校脇の用水路に使用済みの使い捨てカイロを使った濾過装置を設置して水を浄化する。浄化後のカイロの中身は校内で集めた落ち葉と混ぜて培養土とする。この培養土は、二酸化炭素を吸収する植物の栽培（校内を飾る花苗育成プランターと野菜園、採集した地元の森の幼樹を育成するプランター）に利用する。育てた花苗は地域へ、森の保全に向け育成した幼樹は森へ移植し、間伐材では丸太椅子を作る。



#### 審査コメント

近隣地域から回収した使用済みの使い捨てカイロを活用したろ過装置を学校脇の用水路に設置し、水の浄化に取り組みを実施。さらに浄化装置に使用した後のカイロの中身を、校内で集めた落ち葉と混ぜて腐葉土を作り、校内を飾る花苗や幼樹を育成するプランターに利用。育てた花苗は地域へ配布し、幼樹は地元の森へ移植するなど「脱炭素サイクル」の構築に取り組んできました。佐賀市立鍋島中学校の皆さんの活動は、脱炭素社会実現に貢献し、当社が目指す「共生社会の実現」につながる取り組みの参考モデルに資すると考え「最優秀やさしさでささえる賞」に選出しました。また、一連の取り組みを後輩に受け継いでいくという姿勢も「持続可能性」という観点で好事例である点や、当日の熱意に満ちたプレゼンテーションも評価しました。

ユニ・チャーム株式会社 ESG 本部 ESG 推進部 E&S グループ マネージャー代理 関根 透雄

#### 受賞者コメント

今回、リモート開催となりましたが、日本全国各地のファイナリストの皆さんの活動がとても勉強になりました。幸いにも入賞できて、校長先生や全校生徒、職員、みんなで喜んでおります。ありがとうございました。平成の初めから始まったといわれる学校横の水路の掃除活動は、社会的な脱炭素活動やSGDs運動を取り入れ、ここ数年で、生徒会本部の活動から地域ぐるみの活動へとパワーアップしました。この取組を次代の生徒会を中心に、水の浄化と脱炭素活動を生かした持続可能なまちづくりに向け、地域ぐるみの活動として本校の伝統となるよう、大学や行政機関とも連携をはかりながら、発展させていきたいと考えています。

## ファイナリスト紹介

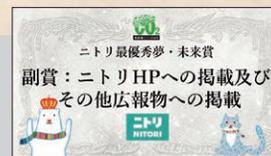
学生部門

ニトリ最優秀夢・未来賞

## 「脱炭素」で作る被災地オレンジロード

宮城県農業高等学校 農業経営者クラブ

〒981-1242 宮城県名取市高館吉田字吉合66

☎022-384-2511 <https://miyanou.myswan.ed.jp/>

地元のみやぎ・東北復興マラソンは全国から2万人が訪れます。このコースに花を植えて全国の人をお出迎えしようと考えました。しかし、被災地の土は、地力がなく花が育ちません。そこで、森林にあった産業廃棄物のスギ樹皮を堆肥化し、コースの土に混ぜると肥料持ち、土質を改善し綺麗な花を咲かせました。産業廃棄物を燃やして処理すれば地球温暖化になりますが、土に混ぜれば資源になり沿岸部は自然豊かになります。



## 審査コメント

ニトリ最優秀夢・未来賞は、環境問題への取組を通して、夢や希望に満ちた輝かしい未来を、みんなで築いていきたいという想いでネーミングをいたしました。宮城県農業高等学校農業経営者クラブの取り組みは、森林にあった本来であれば燃やして処分する産業廃棄物のスギ樹皮を堆肥化し、土に混ぜることで土質を改善させ、地力のない被災地で花を咲かせることで東北復興マラソンのコースを綺麗な花で彩る、という地球にも優しく、そして被災地の皆様にも元気を与える素晴らしい取り組みであったと思います。今後も皆様の活動によって、脱炭素社会を目指すとともに被災地の皆様に元気を与えてくれることを期待しています。

株式会社ニトリホールディングス 代表取締役社長 白井 俊之

## 受賞者コメント

この度はニトリ様から夢・未来賞をいただき誠にありがとうございます。私たちの学校は東日本大震災で被災し、先輩の代から被災地復興に関わる活動を行ってきました。今回、発表した内容は3年前から行っている花で被災地を彩りたいという思いからスタートしたものです。森林にある木材には沢山の炭素が含まれています。しかし、被災地に赴くと炭素物質は無く、植物を育てようと思っても上手く育ちません。それを解決したのが、脱炭素チャレンジカップで発表した内容でした。初めての発表だったのでとても緊張しましたが、皆様を選んで頂き感謝しかありません。私たちはこの受賞をきっかけに更なる活動に繋げていきたいと思っております。ありがとうございました。

## ファイナリスト紹介

学生部門

いのちをつなぐSARAYA賞

マスマス元肥(ゲンピ)を使って富士宮を元気にしよう。

富士宮高校会議所

〒418-0056 静岡県富士宮市西町16-18 西町レトロ館  
☎090-5008-5439 <https://fujinomiya-hsc.com/>



富士宮市は、ニジマス生産量は日本一である。ニジマスの残渣処理について調べたところ沼津へ産廃処理に輸送していることがわかった。(平成30年度 全体で204トン、廃棄処理代32,4000円)このニジマスの残渣を地元で有効活用できれば、炭素排出減、持続可能な社会形成に役立つのではないかと考えた。そこで、同じく地元の特産である朝霧牛の糞尿とコラボして堆肥化できないか検討し成功した。



### 審査コメント

全国一の生産量を誇る地元特産の養殖ニジマスの残渣を利用するため、製品開発から肥料を活用した農作物育成、それらを活用したコラボメニューの開発までの地域社会を巻き込んだ取り組みは、SDGsの目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」をも盛り込んでおり、各地で取り組むべきモデルケースになると思います。サラヤは社会課題をビジネスで解決することを目指す会社であり、このプロジェクトもニジマスの残渣が産業廃棄物として廃棄しているという課題を解決するためとのことで、今後のさらなる拡がりに注目させていただきます。

サラヤ株式会社 取締役 コミュニケーション本部 本部長 代島 裕世

### 受賞者コメント

このたび、脱炭素チャレンジカップ2021のファイナリストに選ばれたことを感謝しています。さらに、「いのちをつなぐSARAYA賞」受賞に驚いています。地域活性化活動を行っている富士宮高校会議所では、一昨年より日本一の養殖量を誇るニジマスの残渣に目をつけ、予算を使って廃棄しているものを地元の朝霧牛の糞尿とコラボして堆肥生産を発案して成功させ、農産物栽培からスイーツ等の作成、SDGsコンテストを企画し、推進し、炭素削減活動、持続可能な社会作りをビジネスの流れを取り入れて推進しています。今回のファイナリスト選出及び賞を頂いたことを励みにさらにSDGs実践活動を行っていきたいと思います。本当に、貴重な機会を頂きありがとうございました。

## ファイナリスト紹介

ジュニア・  
キッズ部門

日本WPA最優秀未来へのはばたき賞/  
マクドナルドオーディエンス賞

## 「水はどこから」 私たちのできる事を続ける!

## せいわエコクラブ

〒543-0031 大阪府大阪市天王寺区石ヶ辻町9-17

<http://www.j-ecoclub.jp/ecoreport/profile.php?id=214>



1995年発足当時から「大阪の水」について知りたいという気持ちがあり、琵琶湖に親しんできました。2000年NPO法人自然と緑との出会いがあり、滋賀県比良山系馬ヶ瀬の森と触れ合う活動に参加しています。水道水として毎日利用している水が琵琶湖からやってくることは頭では知っているのですが、水と森とのかかわり、山の手入れと水のかかわりを間伐や下刈りなどから学んでいます。



## 審査コメント

長年にわたり、継続して水・森を守り、脱炭素活動を推進している。全国の子どもクラブとも協業するとともに、滋賀県の比良山系の森に出かけて、間伐や下草刈り作業などをを行っています。森に入っての実作業によって、「水と森のかかわり」「山の手入れと水のかかわり」「森の木々がCO<sub>2</sub>を吸収する」などを、肌で感じる素晴らしい取り組みです。間伐材を使用した工作や秘密基地づくりなど、子どもたちの生き生きとした活動が目に見えます。SDGsの「安全な水」「気候変動」「海の豊かさ」「陸の豊かさ」などの各目標にも貢献する活動であり、そして未来へはばたく活動であると評価できます。

一般社団法人日本WPA 事務局長 小川 勇造

## 受賞者コメント

初めて脱炭素チャレンジに参加しました。まさか自分達が賞を受賞するとは思ってもいなくて とても驚き嬉しかったです。コロナの影響で会場ではなく、オンライン発表出来たことはいい経験になりました。私の伝えたいことが伝わるか不安だったけれど、発表を見てくれた人から「こんなことをしてるんだね」「すごいね」と感想を聞き伝わってよかったと思いました。リモートと生の発表どちらもやってみて思ったのが、やっぱりいつもみたいに人前で発表することはとってもありがたいことだと感じました。そして他の団体の発表を聞いて「自分もやってみたい」「これなら出来るかもしれない」と新しい発見や、凄い事をするなと思うと、同時に私達も負けられない今の活動を頑張り続けようという気持ちがとても強くなりました。



## ファイナリスト紹介

学生部門

### ユタコロジー最優秀チャレンジ賞

#### パークを活用した循環型農業への展開

#### 大分県立玖珠美山高等学校 地域産業科 チーム野菜

〒879-4403 大分県玖珠郡玖珠町大字帆足160  
☎0973-72-1148 <http://kou.oita-ed.jp/kusumiyama/>



私たち玖珠美山高校は、地域で排出されるスギ樹皮（パーク）の有効活用と農業用資材への転用を目的として、平成 25 年から継続研究を実施。これまでに特許取得、行政や地域農家との連携も深まり、普及へ向けた取り組みがされてる。またこれまでトマト栽培での実験が主であったが、一昨年度からはイチゴ栽培を実施。また一つ、パークマットの可能性を広げる取り組みが開始された。



#### 審査コメント

木の皮が木材を生成するうえで大量に発生する本来捨てるべき物が加工され、資源となる良い例でした。植物を育てるのに大切な有機微生物を含み土壌改良効果があるパークを使うことで農業を行いながら、土壌の改善もできる一石二鳥で未来を感じました。

ユタコロジー株式会社 CSV 推進室 マネージャー 斎藤 由紀

#### 受賞者コメント

「地域に貢献したい」という想いから始まった本研究も、8年目を終えようとしています。その間、行政・地元農家・企業など、多くの方々の支えにより研究を進めることができました。改めまして、本賞を受賞できたのは、これまで携わってくださった方々のおかげです。ありがとうございます。脱炭素社会に向けた農林業の位置づけは、今後ますます重要な役割を担います。そのような中で、本校のSDGsの取り組みを評価していただいたことはとても光栄です。そして地域産業科では今後も「循環型農業」を目指して、様々な研究に取り組んでいきたいと思っております。

## ファイナリスト紹介



ジュニア・キッズ部門

SOMPO環境財団 最優秀わくわく未来賞

## ユネスコスクール「NISHITA」の挑戦

## 東京都杉並区立西田小学校

〒167-0051 東京都杉並区荻窪1-38-15

☎03-3392-6828 <http://www.suginami-school.ed.jp/nishitashou/>

本校では、各学年ごとにSDGsの目標を大きなテーマとして、そこから一人ひとりの児童が課題の解決に向けて挑戦している。2月には「ESD子供報告会」を行い、これまでに取り組んだ内容を、子供たちが子供や保護者、地域の方に発表している。また、委員会活動では、脱炭素の実現に向け、環境委員会や生活委員会が取り組むなど、学校生活全体を通して、SDGsの達成に向け、積極的に取り組んでいる。



## 審査コメント

SOMPO環境財団は「木を植える人を育てる」をモットーに環境人材の育成に取り組む団体です。今年の「わくわく未来賞」では、特に未来の環境保全につながる人材育成に注目して選考しました。杉並区立西田小学校の「ユネスコスクール「NISHITA」の挑戦」では、各学年で毎年新しいテーマを掲げて持続可能な社会づくりに取り組み、「ESD子供報告会」で保護者や地域にも広く発信する活動が長く継続していること、そして「未来の学校」において子供も大人も同じ目線で地域の未来について語り合い、連携・協働していること等を高く評価しました。今後も自由な発想で、新たな目標にチャレンジし、持続可能な社会づくりに貢献する人材の育成に取り組まれることを期待しています。

公益財団法人 SOMPO環境財団 事務局長 佐藤 孝治

## 受賞者コメント

この度は最優秀わくわく未来賞をいただき、誠にありがとうございます。これまでの努力や工夫を評価していただけたのだと思います。とてもうれしかったです。積み重ねてきたことが素敵な形で終わったことに、これまで私たちの活動を支えてくれた方々への感謝の気持ちでいっぱいです。この学校の良さ、6年間をどう表現したらよいか、仲間とともにとても悩みました。限られた時間の中で何度も話し合いを重ねました。もちろん大変だったし、意見がすれ違うこともありました。ずっと楽しかったです。自分たちで1から作り上げることのうれしさを感じています。これからも脱炭素に向け、課題意識をもち、積極的に取り組んでいきたいと思ひます。



## ファイナリスト紹介

学生部門

ウェストボックス 最優秀CO<sub>2</sub>の見える化賞

### 食品ロス削減で意識を変えるん脱炭素!

愛知県立南陽高等学校 Nanyo Company部

〒455-0861 愛知県名古屋市港区大西二丁目99番地

☎052-301-1973 <http://www.nanyo-h.aichi-c.ed.jp/b-nanyo%20company.html>



Nanyo company 部は、環境問題解決に向けて様々な活動を行ってきた。Nanyo Company 部の大人気商品である「やわらかドライりんごずばー」は、“賞味期限延長技術”を活用しており、環境問題の1つである“食品ロス”を解決することの出来る商品である。このような、環境問題解決のための商品を開発し販売することで、生産者・流通業者・消費者の方々の環境意識の向上に繋げている。



#### 審査コメント

愛知県立南陽高等学校 Nanyo Company 部のみなさま、受賞おめでとうございます! 規格外品を使用して開発された「やわらかドライりんご」も食品ロスを考えて作られた製品ですが、賞味期限が来ることで廃棄されてしまうという新たな問題に目を向け、“賞味期限延長技術”により「やわらかドライりんごずばー」として生まれ変わらせるという取組は持続可能な社会にも繋がる素晴らしい取組だと思えます。世界的にも問題になっている「食品ロス」に着目し、身近なところから生産者・流通業者・消費者の環境意識向上に繋げており、加えて自分たち自身の活動を振り返ることさらに課題を見つけ次の行動に繋げる、その姿勢を今後も大事にしてほしいと思います。

株式会社ウェストボックス 代表取締役 鈴木 修一郎

#### 受賞者コメント

私達 Nanyo Company 部は、商品の製造・企画・販売・経理を通してフェアトレード、カーボンオフセット、COOL CHOICE の三つの制度を活用しながら地域貢献を目的として活動を行ってきました。コロナ禍で様々なイベントが中止になり、私たちの活動の一つである販売活動が出来なくなり、その時販売予定だった商品の期限がきてしまうなど、商品を廃棄しなければならない状況に陥ってしまいました。その状況をチャンスととらえ、環境配慮型商品と別の食品を組み合わせ、賞味期限延長技術を用いることで新しい商品を開発することが出来ました。こうした活動を評価して頂き、「ウェストボックス最優秀 CO<sub>2</sub> の見える化賞」に選出して下さり、ありがとうございます。これからも脱炭素社会の実現に向けて、この賞に応えられるよう頑張っています!

## ファイナリスト紹介

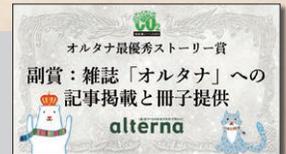
企業・  
自治体部門

## オルタナ最優秀ストーリー賞

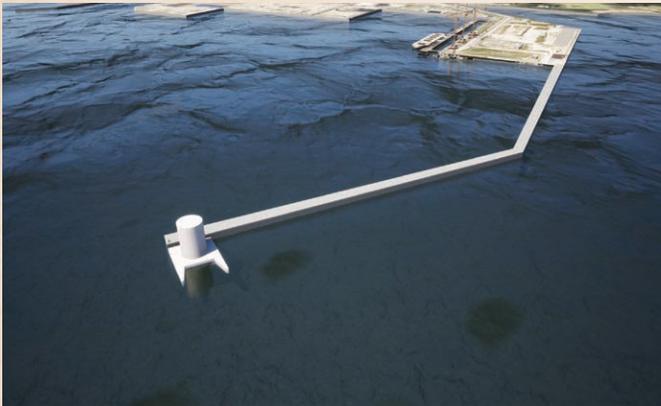
## 日本発・世界初の波力発電技術、「循環型波力揚水発電」の紹介

## 株式会社音力発電

〒252-0804 神奈川県藤沢市湘南台1-1-6

☎0466-53-8788 <http://www.soundpower.co.jp/work/wave.html>

これまでの不可能とされてきた海の波を使用した「波力発電」分野における「三大課題（台風等高波対策、海洋生物対策、漁協との兼合い）」を一気に解決する、日本初・世界初のこれまでにない全く新しい弊社の特許技術。現在、本研究開発は、昨年度からNEDO様の国プロに採用された他、本年度から総務省様と国土交通省様からも受託研究を頂いており「同時に3つの国プロ」を実施中。（※各省庁様からも注目されている。）



## 審査コメント

株式会社音力発電の速水浩平代表取締役は、2006年ごろから、慶應義塾大学SFC発ベンチャー企業として、「発電床」などユニークな事業開発に取り組んでいました。そのころから速水氏の活動には注目していました。その理由は、こうした「どこにもあるエネルギー」の活用は、ともすれば大量消費・中央集権的な構造になりがちなエネルギー利用を、地域や市民の手に取り戻すことにもつながるからです。今回、これまで不可能とされてきた、海の波を使用した「波力発電」（循環型波力揚水発電）に取り組んでおられることを知り、オルタナ賞（最優秀ストーリー賞）を差し上げた次第です。私自身、技術的なことは理解できていないのですが、事業の可能性を感じています。今後のご健闘を期待しています。

株式会社オルタナ 代表取締役 編集長 森 撰

## 受賞者コメント

今回「オルタナ最優秀ストーリー賞」を頂きましたこと、大変ありがたく思っております。また、副賞として「雑誌「オルタナ」への記事掲載と冊子提供」を行って頂けるということで、感謝しております。こちらにつきましても「循環型波力揚水発電」のアピールを行わせて頂くことにもつながりますため、とても良い賞を受賞できたと思っております。日本は、世界有数の海洋国家となります。そして、以前より世界的に見ると「波力発電」は、安定的な再生可能エネルギーとして注目されております。「海の波」を日本の「純国産エネルギー」として捉え「波力発電」を普及させることにより、「安定的な再生可能エネルギー」の供給を実現出来ると思います。我々は、引き続き「波力発電の研究開発」と「普及促進」の実現を目指して活動して参ります。引き続きお力添えを頂けたらと思っております。



## ファイナリスト紹介



市民部門

気象キャスターネットワーク 最優秀市民・学校エコ活動賞

### 民家を改造! オフグリッドハウス「松江の家」

NPO法人足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ

〒132-0033 東京都江戸川区東小松川3-35-13-204

☎03-3654-9188 <https://www.sokuon-net.org>



本活動は、家人の転居により無人となり、電力会社と通電していない戸建て住宅を、子どもの権利に関する活動を行っている市民団体が活動拠点として利用するに当たり、照明等、活動に必要な電力を提供するため、太陽光発電パネルと鉛バッテリーを持ち込み、電気を利用できるように施工し、オフグリッドハウス「松江の家」と名づけ、2015年より運用している。施工費は約50万円である。



#### 審査コメント

「オフグリッドハウス松江の家」は、私たち一般市民が脱炭素社会を実現するモデルケースです。一見、誰にでも出来そうですが、言うは易し行は難し、なかなか実現できない意識の高い取り組みです。身近なお手本として、ぜひ多くの方に取り組みを知っていただき、活動の輪が広がっていくことを期待しています。

特定非営利活動法人気象キャスターネットワーク 理事長 南 利幸

#### 受賞者コメント

このような賞をいただき大変うれしく思います。コロナ禍で対外的な活動が一切できなくなり、私たちの活動を発信したいとの思いからの応募でした。実は昨年、「令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰」を受けていたので、受賞することは無いと思っていました。今回の受賞は、1997年の結成以来、気候変動問題に対して、東京・江戸川区という地域で市民が主体的に取り組むことのできる活動を続けてきたことそれ自体に対するものと考えており、これまで活動に関わってきた方々全員の力によるものと思う次第です。ぜひ、松江の家を見に江戸川へ来てください。お待ちしております。

## ファイナリスト紹介

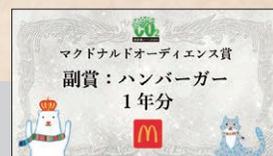
学生部門

マクドナルドオーディエンス賞

## 人と自然の豊かな関係をきづく脱炭素社会実現に向けて

## ソフトエネルギー研究ユニット

〒656-0012 兵庫県洲本市宇山2-8-65

☎0799-22-1240 [http://www.hyogo-c.ed/~sumoto-ihs/01\\_information/01\\_seitonoayumi.html](http://www.hyogo-c.ed/~sumoto-ihs/01_information/01_seitonoayumi.html)

淡路島は、平成 23 年 12 月あわじ環境未来島特区に指定を受けた。本ユニットは、脱炭素社会実現のために市民の省エネ意識や環境保全意識向上を目的とした活動を行ってきた。環境負荷の小さいソフトエネルギー研究の成果を基として、近隣地域住民にも協力いただき、風車街路灯や水車街路灯の設置、さらには東北絆ボランティア活動にも参加し、石巻市や陸前高田市自治会との協働により風車街路灯の設置も実現させてきた。



## 受賞者コメント

脱炭素化社会にむけた専門高校らしい取り組みとして、10 数年来ソフトエネルギーの性能改善の取り組みを行ってきました。最初は小水力利用技術、次には風力発電技術、ソーラ光技術、ソーラ熱技術、圧電技術、氷雪利用技術などソフトエネルギーに関わる技術で試作実験を繰り返し、関連学会でも発表してきました。さらに、ボランティア活動として得られた知見を活用してきました。今回は、コロナ感染症拡大という新たな問題を抱えるに至りました。脱炭素を念頭に人々の諸活動を少しでも応援するために、省エネフェイスシールドを3Dプリンタで製作し、福祉施設、求職センタ、イベント会場にも提供してきました。元気に活動している私たちをご覧いただけてうれしく思います。

## 審査方法

今回のプログラムは、全てオンライン（WEB上）でのリアルタイム配信となり、オーディエンス賞もWEBにて投票をして頂きました。当日は225名のWEB投票の結果、上位2団体が「オーディエンス賞」として決定いたしました。

あなたの1票で決まる??

WEB投票実施決定!

マクドナルドオーディエンス賞は投票者の皆様の投票により、受賞団体が決定します!

(WEB投票に参加するには?)

\*事前登録をおこなってください。

\*必ず、全団体の発表をご視聴ください。

\*投票は1人1団体に対してのみになります。

## WEB投票結果 ランキング!

順位	団体名称	所在地
1	ソフトエネルギー研究ユニット	兵庫県
2	せいわエコクラブ	大阪府
3	八尾市曙川小学校	大阪府
4	NPO 法人さやま環境市民ネットワーク	埼玉県
5	あおぞら学童保育クラブ	愛知県

## ファイナリスト紹介

企業・自治体部門

### 審査委員特別賞

## バイオマスエネルギーの活用によるCO<sub>2</sub>ゼロへの挑戦

北越コーポレーション株式会社 関東工場勝田工務部

〒312-0062 茨城県ひたちなか市高場1760 ☎029-275-5500 <http://www.hokuetsucorp.com/>

北越コーポレーションでは、事業活動に伴って自然環境へ与える影響を最小限にする「ミニマム・インパクト」の考え方を環境の基本理念としています。当工場では、木質燃料や紙をつくる工程で排出されるペーパースラッジを主燃料とするバイオマス発電ボイラーの導入により、CO<sub>2</sub>排出量を導入前に比べて約55,000t(約56%)削減し、再生可能エネルギー(Renewable Energy)比率83%を達成しました。



#### 審査コメント

2050年までにCO<sub>2</sub>排出実質ゼロを宣言された社のなかでもけん引役となる関東工場の取組です。利用効率を高めた結果、再生可能エネルギー比率83%に達していることは素晴らしい実績で、社内はもとより住宅地と近い工場の性質から地域の住民にも説明されている波及力も大きく評価されました。これからも業界・地域と共に脱炭素を推進していけることを期待しています。

審査副委員長 尾山 優子

#### 受賞者コメント

審査員の皆様方には、北越コーポレーション(株)勝田工務部の【脱炭素】への取り組みを高く評価して頂き、大変嬉しく思っております。また今回、このプレゼンの機会を与えて下さいました茨城県環境管理協会の皆様方、プレゼンを温かくサポートして下さいました司会者の方や事務局の皆様にも感謝申し上げます。私達の「紙づくり」は環境に優しい「植林木チップ」と「古紙」を原料とし、生産に必要なエネルギーの【脱炭素比90%】を既に達成しております。残り10%のゼロカーボンへの取組も2021年よりスタートさせています。【地球温暖化防止】への更なる取り組みを、地域の方々と共に進めて参ります。この度は本当にありがとうございました。

学生部門

### 優秀賞

## クリエイティブクッキングバトルオンラインKAWA

クリエイティブクッキングバトルオンラインKAWA 実行委員会

〒194-0003 東京都町田市小川2-34-16 <https://ccb-kawa.cookpad.jp/#ccb>

オンラインで家族や友達と2~4人のチームを組み、野菜や果物の皮、保存食、地域食材などの食材を使って、いかに無駄なく、斬新でクリエイティブな料理ができるかを競う、動画応募型コンテストです。調理過程を3分以内の動画にまとめ、400字のPR文章とともに応募してもらい、無駄のない工夫・料理アイデアの新しさ・見た目の美しさ・動画の楽しさをポイント化し、全ての合計点を競います。



## ファイナリスト紹介

学生部門

優秀賞

## 資源循環型肥料の開発で地球を救う、環境社会イノベーション!

## 緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチーム

〒774-0045 徳島県阿南市宝田町今市中新開10-6

☎0884-22-1408 <https://www.youtube.com/watch?v=g7blEBuLtlQ>

私達は、道路や河川・公園等の維持管理で発生する「刈草」から資源循環脱炭素社会の構築に向けて資源循環型肥料「もったいない2号」を開発した。さらに、「もったいない2号」は全国で初めて高校生の団体として徳島県からエコ商品の認定を受け、生産に向けた模擬会社「バイオマス工房・未来」を立ち上げ、4名の地域雇用を創出した。東日本大震災への防災復興支援活動や東京2020五輪パラリンピックの暑熱対策に取り組んでいる。



市民部門

優秀賞

## 未来の子ども達と元気な森林づくりで脱炭素

## 森の守り人

〒310-0827 茨城県水戸市吉沼町1797-6

<https://kirameki-ibaraki.com/about/mito/>

自然に親しむことが少なくなった今、地域の手入れされていない人工林を整備する機会もなくなり、荒廃した森が増えています。茨城は首都圏に近いことから農水は発展していますが、林は置き去りになってしまいました。そこで、未来の子どもたちを巻き込み、楽しく活動ができるか?と考えた結果、皮むき間伐方にたどり着きました。陶芸の里「笠間」ではじまった持続可能な森の脱炭素を提案します。





## ファイナリスト紹介



市民部門

優秀賞

### あおぞら学童保育クラブ木造施設建設プロジェクト

#### あおぞら学童保育クラブ

〒458-0815 愛知県名古屋市緑区徳重一丁目1108番地  
☎052-876-9463 <http://aozoragakudo.org>

プレハブ施設だった学童保育所の建物を木造の建物に建て替えたプロジェクトです。また建て替えに合わせて、保育に木育の観点を入れ、子どもたちが木に親しみ、自然な形で持続可能な社会への関心を育てる取り組みです。名古屋市内の学童保育所のほとんどは、名古屋市から貸与されるプレハブで保育が行われています。プレハブの住環境は必ずしも良いとは言えず、環境改善とともに学童保育に新たな保育視点を導入する試みです。



市民部門

優秀賞

### 循環型社会に向けた福祉農園プロジェクト

#### 株式会社パスポート 社会福祉法人はぐるまの会

〒216-0011 神奈川県川崎市宮前区犬蔵一丁目23番13  
☎044-975-4800(代) <https://www.passport-net.co.jp/>

運営店舗の一つである「業務スーパー宮前店」で、日々排出される野菜くずを「生ごみ処理機」に投入。生ごみ処理機内で一次発酵したものを「社会福祉法人はぐるまの会」の障がい者の皆様に回収を依頼。はぐるまの会が運営する「はぐるま農園」の堆肥場で二次発酵した後、農園の堆肥として使用しています。農園で収穫された野菜は、堆肥の原料となった野菜くず排出場所の業務スーパー宮前店に納品され、地域のお客様に販売されています。



## ファイナリスト紹介



市民部門

優秀賞

## 自動車の廃材を活用したバリアフリービーチの構築

## ドリームやまがた里山プロジェクト

〒990-0031 山形県山形市十日町3-9-36

☎023-666-6967 <https://www.dysp.org>

焼却処分する廃車のガラス・バンパーを再利用し、コンクリートに混合、障がい者と健常者が共に楽しめる海水浴場構築のため、車イス用大型スロープの建設を実施した。混合する上で安全性を確保するため、県工業技術センター協力のもと、圧縮強度試験も実施し、結果クリアした。施工は地元自治会、県港湾事務所等の協力で鶴岡市鼠ヶ関海水浴場に建設。廃車 270 台分のガラス、100 台分のバンパー計 28t の産廃物削減。



企業・自治体部門

優秀賞

## この美しい日本の自然と、未来の子供たちの笑顔を守るためには

## ～ひこねの金物や～株式会社ニシダ

〒522-0024 滋賀県彦根市正法寺町53-26

☎0749-26-0297 <https://www.woodfiber.jp/>

国産の間伐材で作られた断熱材『ウッドファイバー』を地域の工務店が、地域の住まいに、地域の職人さんが施工するという、地域の経済を循環させながら環境保全できる『四方よしの活動』です。森林の有効活用は、近年衰退している林業を活性化し森を守り、育てることで温暖化防止効果も期待できます。豊かで美しい社会と子供たちの笑顔を次世代に残すための永続的发展プロジェクトです。





## ファイナリスト紹介

企業・自治体部門

優秀賞

### とみやからはじまる未来の暮らし ～脱炭素×水素エネルギー～

宮城県富谷市

〒981-3392 宮城県富谷市富谷坂松田30番地  
☎022-358-0517 <https://www.tomiya-city.miyagi.jp/>

平成 29 年度環境省事業 「地域連携・低炭素水素技術実証事業」の採択を受け、(株)日立製作所、丸紅(株)、みやぎ生活協同組合と富谷市の 4 者共同で、脱炭素社会を目指した一般家庭での低炭素水素利用に向けた、サプライチェーン構築の取組を実施している。本事業に伴走するため、本市では低炭素水素プロジェクトを立ち上げ、公共施設に純水素燃料電池を設置し、脱炭素社会推進を進めていくための各種啓発事業を実施しています。



企業・自治体部門

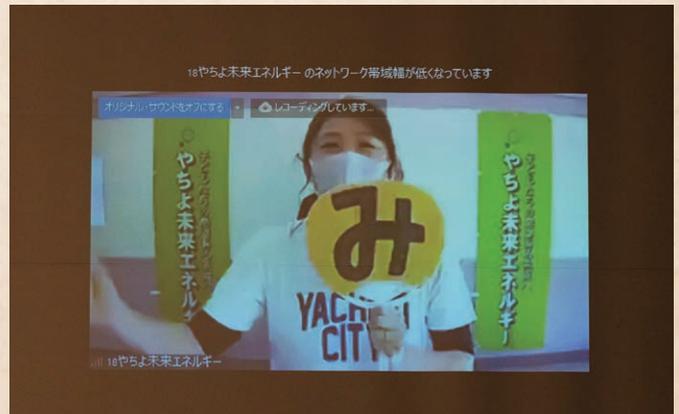
優秀賞

### コドモライプロジェクト

一般社団法人やちよ未来エネルギー

〒276-0032 千葉県八千代市八千代台東1-17-5 八千代アートスクール1F  
☎050-5328-4767 <https://yachiyomirai.com/>

私たちは「地域のみんで創る自然エネルギー社会を子どもたちの未来へ」の想いを込めて、「コドモライプロジェクト」として市民の皆さんとともに (1) 市民発電所プロジェクト (2) パワーシフトプロジェクト (3) エコ教育プロジェクト (4) ベランダ発電プロジェクト (5) 子ども守るプロジェクトの5つのプロジェクトに取り組んでいます。



ご協力ありがとうございました！



## ファイナリストの声

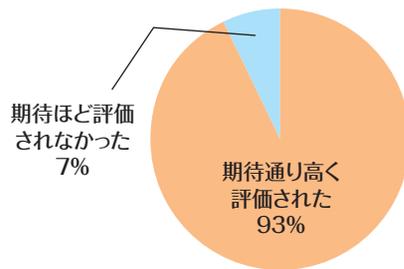
### アンケート調査概要

対象者：ファイナリスト28団体

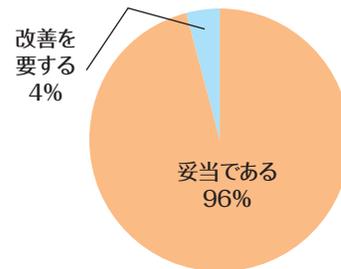
回答数：28団体

内容：応募から、「脱炭素チャレンジカップ2021」当日のプレゼン発表までの関わりの中で、各問に対してご回答いただきました。  
(一部抜粋)

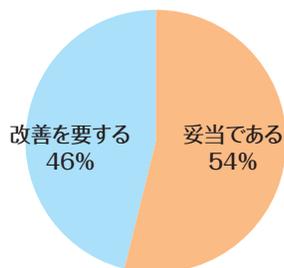
#### Q. 貴団体がファイナリストに選ばれたことは周囲でどのように評価されましたか



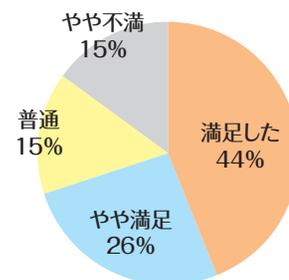
#### Q. 応募要項の分かりやすさや、エントリーシート(応募資料)の内容等について



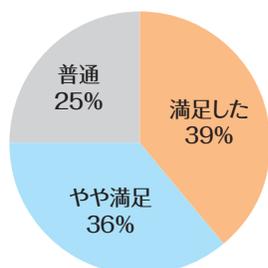
#### Q. 開催曜日(平日)について



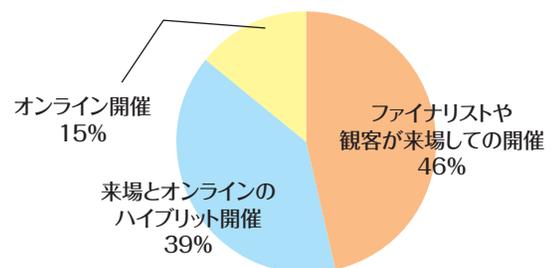
#### Q. 開始/終了時間、時間配分について



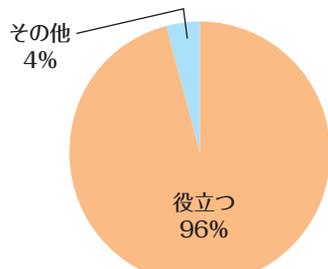
#### Q. オンライン開催について



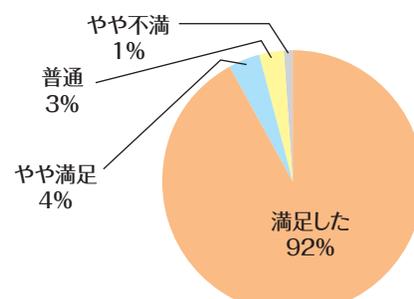
#### Q. オンライン開催と来場しての開催はどちらが良いと感じましたか?



#### Q. 今回の出場は、貴団体の今後に役立つと思えますか



#### Q. 事務局スタッフの対応について

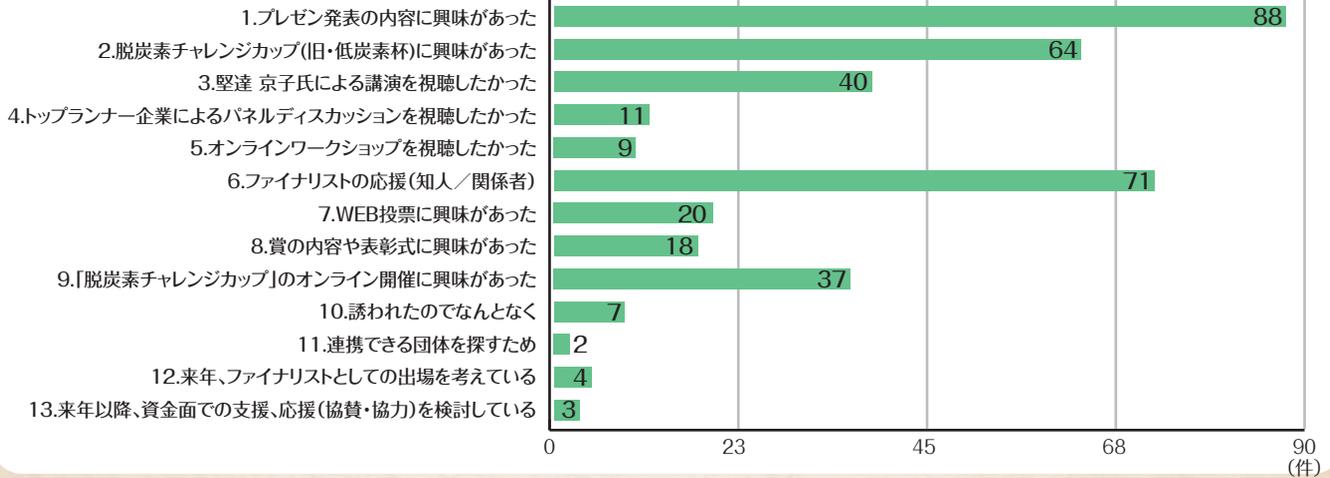




## 来場者の声

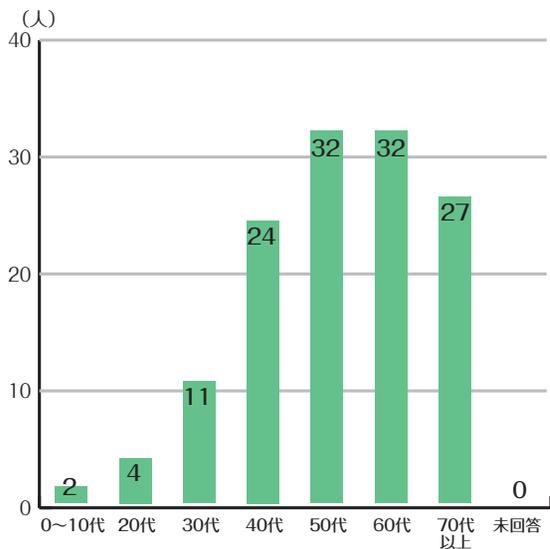
### 来場目的(複数回答)

n=374



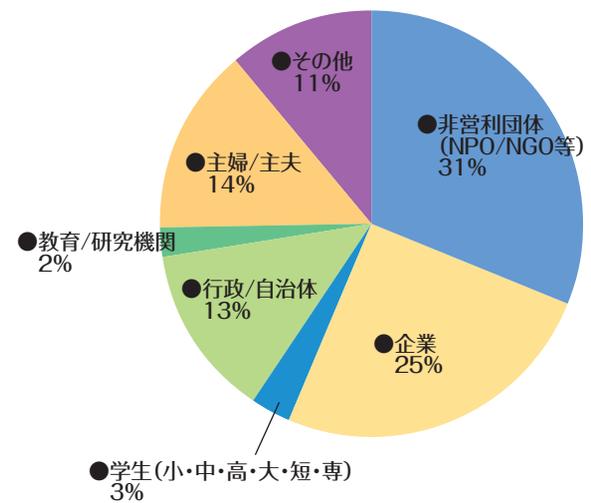
### 年代

n=132



### 属性

n=132



### 満足度(昨年度との比較)

#### 脱炭素チャレンジカップ全体

満足 普通 不満足 無回答



#### オンライン開催について

満足 普通 不満足 無回答



#### プレゼンの内容や演出

満足 普通 不満足 無回答



#### スタッフの対応

満足 普通 不満足 無回答



## ご協力いただいたみなさまのご紹介

## “アンバサダー”として、脱炭素チャレンジカップを盛り上げて頂きました！

これまで前身の低炭素杯と脱炭素チャレンジカップに出場したことがあり、本取組に“愛”があふれ、自身の活動フィールドを生かしながら、草の根的に広めて頂くことを目的に、2017年よりアンバサダー制度を実施しています。今年度から6名の方に、脱炭素チャレンジカップアンバサダーとして活躍いただいています！



● 元 栃木農業高等学校 教諭  
小森 芳次 様

当大会は、世代を超え脱炭素社会構築を目指し、全国各地の多種多様の優れた活動を発表する場です。私達、栃木農業高校は、豊かな地域資源の保全・生活文化の復活継承に取り組んだ結果、低炭素杯2012、2013の全国大会にて2年連続環境大臣賞グランプリを受賞させていただきました。

この大会で得られた世代間連携・地域おこし活動などの体験報告は、卒業後、社会人として「生きる力」を育む原動力となっています。



● ファインモーターズスクール 広報チーム  
齊藤 千絵 様

脱炭素チャレンジカップのゆるっとした温かい雰囲気が好きです。私は2016年の低炭素杯でエコドライブを様々な世代に啓発する内容を発表し、文部科学大臣賞を頂きました。その後はアンバサダーとしてゲスト審査員や当日受付のお手伝いしています。会場には洗練されたアイデアを持った様々な地域や世代の方が集まります。世の中にまだ知られていない取り組みも沢山あって、まさに宝箱のような大会だと思います。そんな脱炭素チャレンジカップをもっと多くの人に知ってもらいたいです。



(写真右、左は五箇先生)

● ホタルネットワークmito  
高橋 克英 様

気さくで良い人たちがたくさんいる低炭素杯。2017年に「ホタルネットワークmito英宏ecoスクールプロジェクト」で寸劇を交えて披露した結果、環境大臣賞金をいただきました。その後も会場に足を運び、脱炭素チャレンジカップ2020では講演された憧れの五箇公一先生とパネルディスカッションに同席、低炭素杯をきっかけに「セブンの森づくり」に発展した取り組みを発表させていただきました。大学生になり、アンバサダーとしてまたこの場所に戻ってきたことに感激しています。大会をさらに広げて仲間を増やしていけたらと思います。



● FMおとくに 事務局長  
木本 直樹 様

初めてのオンライン開催となった「脱炭素チャレンジカップ」でしたが、今回も地域で活動する皆さんが集い、ワークショップでは様々な意見や課題などを共有することができ有意義な大会になりました。気候変動はこれまでに経験したことのない大規模な台風や豪雨など、私たちの暮らしに与える影響は大きくなっています。この大会を通じて気候変動を止めるための地域活動の輪が広がり、一人ひとりが生活スタイルを見直すきっかけになることを願っています。



● エコドライブ研究所 代表  
福田 慎太郎 様

私の大好きな低炭素杯。アットホームで温かみのある雰囲気はそのままに、今回から脱炭素チャレンジカップとして生まれ変わりました。2014年の初ファイナリストから、3度目の正直で文部科学大臣賞を頂いた後もずっと関わらせていただいているこの大会。今年もアンバサダーを務めさせていただき嬉しく思っています。これからも脱炭素社会を目指す皆さまと一緒に大会を盛り上げていければ幸いです。さあ、エコドライブに取り組みましょう。



● 逆川こどもエコクラブ クラブメンバー  
小島 大知 様

始めて低炭素杯に出場したのは小学4年の2017年、学校の裏手にある耕作放棄地を再生した発表でした。その後、2018年にワズユースを学びラムサールネイチャーガイドに登録、2019年に茨城県地球温暖化防止活動推進センターのエコカレッジを受講して温暖化や気候変動、SDGsやESGなどを学び、国内最少年の地球温暖化防止活動推進員に任命されました。脱炭素チャレンジカップとなった2020年は、「地域を超えたこどもたちのSDGs」を披露させていただきました。大会を通じ、脱炭素の輪が広がることを期待します。

## “協力団体”として広報面・当日のスタッフとしてもご協力いただきました！

こどもエコクラブ全国事務局  
(公益財団法人 日本環境協会)



こどもエコクラブとは、幼児から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブで、現在約1,700クラブ、9万人を超える子どもたちが全国で活動しています。

「ジュニア・キッズ部門」への子供たちの応募を促進するべく、こどもエコクラブに協力いただき、登録クラブにエントリー募集の声がけをしていただきました。今回は、ファイナリストの中で2団体がこどもエコクラブの関係/登録団体でした！

自動車教習所  
ファインモーターズスクール



ファインモーターズスクールは、低炭素杯に何度も出場、受賞している常連団体で、免許取得の際に自然とエコドライブが身につく「楽エコ教習」を基軸に、小学校でのエコドライブ寸劇や、自治体職員向けのエコドライブ指導者養成など、多様な取り組みを通じて「エコドライブ」の普及を行う自動車教習所です。今年も当日に、受付スタッフとして、事務局と一緒に汗を流していただきました！



## 脱炭素チャレンジカップへの寄付にご協力いただきました

全国各地の多種多様な方々の優れた取組を広く伝え、交流・連携を図る場である「脱炭素チャレンジカップ」は、前身の低炭素杯を含めた11年間に、全国から数千団体にご応募いただき、計386団体を超えるファイナリストがステージ上で自らの取り組みを発表しています。

参加者同士の新たな共同事業展開という嬉しい成果も生まれています。この動きをさらに進化させ、「脱炭素チャレンジカップ」を持続して開催していく為には、想いに賛同・共感してくださる皆様のサポートが必要です。

今年度は以下の皆様方にご寄付をいただきました。

### ～直接寄付をいただいたみなさま～

・小宮山 宏 様 計 200,000円

### ～古本募金に参加いただいた皆様～

このたび、本やDVDなど使い終わったものをリサイクル換金して寄付できる、「古本募金(きしゃぼん)」を実施し、以下の皆さまから古本募金での寄付をいただきました。

- 石川県地球温暖化防止活動推進センター 様
- 大分県地球温暖化防止活動推進センター 様
- 佐藤 英津子 様
- 杉野 正枝 様
- 野竹 宏彰 様
- 櫻田 彩子 様
- 山本 沙樹 様

計30,844円

皆様から頂いた協賛・寄付金はファイナリストプレゼンテーションに係るオンライン設備費用や、会場費等の運営資金に大切に使用させていただきます。是非とも来年の「脱炭素チャレンジカップ」開催のため、引き続きご支援をお待ちしています！

## 支 援 方 法

### ■ 協賛する

「脱炭素チャレンジカップ」ウェブサイト上の申し込み用紙をダウンロードし、申込用紙を事務局メールアドレス [zccc@zenkoku-net.org](mailto:zccc@zenkoku-net.org) 宛にお送りください。その後事務局より手続きのご連絡をいたします。

### ■ 寄付する

寄付は3コースあり、コースによって特典が異なります。以下コースと口数を選び直接お支払いください。

5,000円/口コース

特典 報告書やウェブサイトにお名前を掲載、報告書の送付

10,000円/口コース

特典 報告書やウェブサイトにお名前を掲載、報告書の送付  
次年度の脱炭素チャレンジカップ懇親会への招待(1名様まで)

20,000円/口コース

特典 報告書やウェブサイトにお名前を掲載、報告書の送付  
次年度の脱炭素チャレンジカップ懇親会への招待(2名様まで)

※懇親会は、立食パーティー形式で、新たな出会いの場となっています。

### ■ セブン-イレブン店頭募金箱に募金する

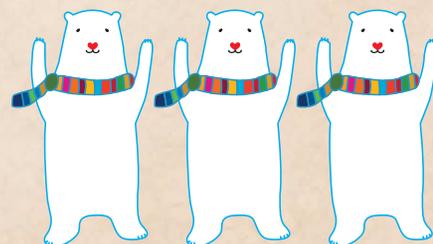
共催企業のセブン-イレブン記念財団は、全国のセブン-イレブン店頭へ寄せられたお客様からの募金と、(株)セブン-イレブン・ジャパンからの寄付金とを合わせて、環境をテーマにした市民活動や自然環境保護保全活動を支援しています。その募金の一部は、「脱炭素チャレンジカップ」へも協賛されます。

### ■ 古本募金で寄付する～0円で寄付しよう～

脱炭素チャレンジカップでは本やDVDなど使い終わったものをリサイクル換金して寄付できる、「古本募金(きしゃぼん)」を実施しています。皆様に負担いただく費用は0円です！本を5冊以上集めて「脱炭素チャレンジカップ きしゃぼん」検索 検索し、申し込みフォームに則って入力すれば手配完了です。ご希望の日程に本の集荷業者が参ります。



ご寄付！お待ちしております。



ゆうちょ銀行 ○一九(ゼロイチキョウ)店(019)  
当座 0791958  
ダツタンソチャレンジカップジムキョク  
脱炭素チャレンジカップ事務局

## 各大臣賞 受賞企業・団体に現場訪問

環境大臣賞、文部科学大臣賞を受賞されました企業・団体の現場へ、地域地球温暖化防止活動推進センターのスタッフと共に、視察させて頂きました。現場に触れると共に、現場担当者との意見交換や質疑応答を通じ、脱炭素化に向けての優良な取組として、今回は4団体を紹介します。

### 環境大臣グランプリ モリショウグループ

今回グランプリを受賞されましたモリショウグループ(大分県日田市)を訪問させて頂きました。

資源循環型の木質バイオマス発電の最前線の現場を見学しました。代表取締役の森山様からは、大分県日田市での林業や、御社のこれからの展開についてお聞きしました。これからも、事業が地域社会の貢献に繋がることをビジョンとして、森林再生、雇用創出、安定電源エネルギー等で、業界の中でも新しい時代に向けて先導しつつ常にチャレンジし続けるとのことでした。大分県日田市の林業、これからも注目していきます。



### 環境大臣金賞(学生部門) 学校法人誠心学園浜松開誠館中学校高等学校

環境大臣賞金賞(学生部門)を受賞されました学校法人誠心学園浜松開誠館中学校高等学校(静岡県浜松市)を訪問させて頂きました。実際に活動している生徒達へ、対面でインタビューをしました。生徒達は、私からの質問に対して、自分の言葉でしっかりと答えてくれました。プレゼン力はもちろんのこと、自分事として物事を捉えており、解決に向けて今何を行うべきかということがしっかりと伝わりました。今後は、全国の学生と繋がりSDGsをはじめ環境問題の解決に向けて輪を広げていきたいとのことでした。静岡発!気候マーチ!可能性は無限大です。今後の活動の展開に期待です。



### 環境大臣金賞(ジュニア・キッズ部門) 八尾市曙川小学校

環境大臣賞金賞(ジュニア・キッズ部門)を受賞されました八尾市曙川小学校(大阪府八尾市)を訪問させて頂きました。

エネルギー教育モデル校の認定をきっかけに、ホテルを育てるピオオープン作りや、ソーラーカー製作など、子供たちとともにプロジェクトを実施している現場を見学。様々なプロジェクトの根幹には、「あきらめなければ、夢は叶う」があり、子供たちが発案したことを地元の高校生や地域の方々が生かして、先生をはじめ関わっている方々の連携による賜物と思われました。

学校と、地域や保護者との距離感がとても近く、子供たちへの教育にも好影響を与えていました。

これからも地域との新たな取組に期待です。



### 文部科学大臣賞(社会活動分野) 飯山市雪エネルギー検討会議

文部科学大臣賞(社会活動分野)を受賞されました飯山市雪エネルギー検討会議を訪問させて頂きました。

見学した雪室は、天然の雪による貯蔵量の大きさに圧倒され、庫内は、1~3℃、湿度98~100%による体感を経験できました。雪室を活用している「飯山そば振興研究会」の方々からは、豪雪地域である飯山市は人口減が進んでおり、その対策として、次世代の雇用創出や、飯山市のブランド製品の開発など行っているとお聞きしました。取組の1つとして、飯山雪室熟成そばが商品化され、近日中には一般販売が開始されるということです。地元の天然資源を利用したエネルギー利用の取組であり、持続可能な地域づくりに向けてのビジネスへの展開に、これからも注目です。



## データベースを開設

「地域発!脱炭素な取組活動団体データベース」を開設しました。脱炭素チャレンジカップ(旧低炭素杯)に参加された団体のプロフィールや、脱炭素チャレンジカップをサポートする企業と連携して取組を実施している団体の情報が検索できます。地域で脱炭素化の社会に向けて活動している企業や団体の情報が満載ですのでご活用ください。



トップページでは、「活動拠点・エリア」「団体区分」「活動ジャンル」「関連するSDGs」で検索ができます。



トップページで、登録団体の概要を紹介



登録団体のプロフィールページ

## SNSの活用

現在、生活の中でSNSの利用者は増加しています。そこで、一般の方々との接点を増やし、脱炭素チャレンジカップの認知度の拡大することを目的にいくつかのSNSを運用しています。また、SNS上でのコメントやいいねなどの直接的なアプローチや検索数などによって、リアルタイムな反応が寄せられ、シェアなどによる情報の拡散も期待しています。

facebook

twitter

YouTube



Facebookでは、脱炭素チャレンジカップHPよりも、旬な話題を取り上げて、情報発信をしています。投稿には、参加団体やスポンサー企業のご紹介や時事ネタもご覧いただけます。



限られた文字数の中で、リアルタイムにお伝えしたい話題を発信しています。即時性のある情報を拡散できるように、フォロワー獲得に向けて、投稿数の増加を試みています。



YouTubeチャンネルでは、本番当日のプレゼンテーション、講演、表彰式の動画や、プロモーション動画を公開しています。

フォロワー&いいね！チャンネル登録！お願いします！！



## カーボン・オフセットを実施

脱炭素チャレンジカップは、カーボン・オフセットの認証を受けた  
REDD+[Katingan Peatland Restoration and Conservation Project]により創出されたCO<sub>2</sub>の削減でオフセットをしました。



# Carbon Offset Certificate

カーボン・オフセット証書

2021年 1月 25日

脱炭素チャレンジカップ実行委員会 殿

東京都千代田区九段南3-9-12 九段ニッカナビル7階

貴殿との間で締結した業務委託契約に基づき、カーボン・オフセットの手続きが完了したことを  
下記に証明します。

Certified as below that you have completed the procedure of carbon offset on the basis of our consignment contract.

オフセット対象 Boundary	脱炭素チャレンジカップ2021の会場での電力使用に伴い発生する CO <sub>2</sub> 排出量
クレジットの種類 Credit Type	VCUs (REDD+)
クレジットの数量 Amount of Credits	<b>2 t-CO<sub>2</sub></b>
クレジットの無効化方法 Invalidity type	APXのVCS口座で無効化手続きを実施
オフセット行為の完了日 Completion Date of Offset	2020年 8月 4日
シリアル番号 Serial No.	6357-298884143-VCU-006-APX-ID-14-1477- 01112010-31102015-1 ~ 6357-298884144-VCU- 006-APX-ID-14-1477-01112010-31102015-1
プロジェクト名 Project Title	Katingan Peatland Restoration and Conservation Project
プロジェクト番号 Project No.	1477
プロジェクトタイプ Sectoral Scope	農業、森林、土地利用
プロジェクトの排出削減・吸収量 Amount of Reductions	7,451,846 t-CO <sub>2</sub>



Carbon  
Offset  
ID: 210100963

### 株式会社イトーキ

東京都中央区日本橋二丁目5番1号 〒103-6113



## これまでの歩み

### 脱炭素チャレンジカップ2020

- 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
NPO法人田舎のヒロインズ(熊本県)  
「農村地帯でのRE100化を目指す女性農家たちの挑戦」



- 開催日：2020年2月19日(水)
- 会場：伊藤謝恩ホール
- 総エントリー数：183件
- ファイナリスト数：28件

### 低炭素杯2019

- 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
姫島エコツーリズム(大分県)  
「エコアイランドと地域活性化を目指した超小型EVの活用」



- 開催日：2019年2月8日(金)
- 会場：カルッツかわさき
- 総エントリー数：1,425件
- ファイナリスト数：28件

### 低炭素杯2018

- 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
岩手県立遠野緑峰高等学校(岩手県)  
「ポップ和紙開発プロジェクト」



- 開催日：2018年2月15日(木)
- 会場：日経ホール
- 総エントリー数：1,170件
- ファイナリスト数：30件

### 低炭素杯2017

- 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
佐賀市上下水道局 下水プロジェクト推進部(佐賀県)  
「昔に帰る未来型 ～佐賀市上下水浄化センターを「宝を生む施設」に～」



- 開催日：2017年2月16日(木)
- 会場：日経ホール
- 総エントリー数：951件
- ファイナリスト数：26件

### 低炭素杯2016

- 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
しずおか未来エネルギー株式会社(静岡県)  
「静岡発!!みんなで創る地域発電所」



- 開催日：2016年2月16日(火)・17日(水)
- 会場：日経ホール
- 総エントリー数：1,993件
- ファイナリスト数：38件

### 低炭素杯2015

- 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
下川町(北海道)  
「地域資源“森林”を活用したエネルギー-自給型小規模自治体モデルの構築 ～誰もが暮らしたいまち、誰もが活力あるまち～」



- 開催日：2015年2月13日(金)・14日(土)
- 会場：東京ビッグサイト国際展示場
- 総エントリー数：1,730件
- ファイナリスト数：39件

### 低炭素杯2014

- 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
株式会社ウジスーパー&株式会社ウジエクリンサービス(障害者特例子会社)(宮城県)  
「[エコガニックwithノーマライゼーション]食品スーパーが提案する環境ループ事業」



- 開催日：2014年2月14日(金)・15日(土)
- 会場：東京ビッグサイト国際展示場
- 総エントリー数：1,620件
- ファイナリスト数：41件

### 低炭素杯2013

- 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
栃木農業高等学校 村おこしプロジェクト班(栃木県)  
「麻の郷とちぎの環境資源を次世代に」



- 開催日：2013年2月16日(土)・17日(日)
- 会場：東京ビッグサイト国際展示場
- 総エントリー数：1,371件
- ファイナリスト数：40件

### 低炭素杯2012

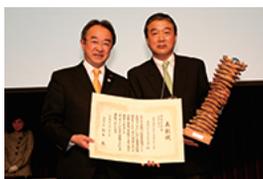
- 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
栃木農業高等学校 地域おこしプロジェクト班(栃木県)  
「守れヨシの湿原、とりもどせ農村のヨシ作り」



- 開催日：2012年2月18日(土)・19日(日)
- 会場：東京ビッグサイト国際展示場
- 総エントリー数：108件
- ファイナリスト数：41件

### 低炭素杯2011

- 環境大臣賞グランプリ受賞団体  
環境NPOオフィス町内会(東京都)  
「森の町内会(新たな仕組みによる干ばつ促進と森林のCO<sub>2</sub>吸収)」



- 開催日：2011年2月5日(土)・6日(日)
- 会場：東京大学安田講堂
- 総エントリー数：70件
- ファイナリスト数：47件

—ホットでクールな4分間— 脱炭素チャレンジカップ2021をふりかえる



一般社団法人地球温暖化防止全国ネット  
理事長

## 高田 研

今年はネット開催となりましたが、延べ1,600名の視聴がありネットでの強みを生かした開催となりました。またこのような状況にも関わらず144団体のエントリーがあり、28団体がファイナルに選ばれてご発表いただきました。今年もこの大会を支えていただきました全ての方々にまずは厚く御礼申し上げます。

今年の環境大臣賞グランプリはモリショウグループ 木質バイオマス発電を核としたSDGsへの取り組みでした。私は岐阜県の林業学校に勤務しておりましたので、自分事のように嬉しく思います。この成功事例が日本の林業の現状を変えていくきっかけとなり、より大きな脱炭素に繋がることを期待しています。金賞を受けました株式会社土谷特殊農機具製作所のアイスシェルター（氷室）、そして文部科学大臣賞を受けました飯山市雪エネルギー検討会議は両者ともに、豪雪という地域の生活課題を逆手に取り、その雪を利用した氷室を使ったチャレンジでした。私の大学があります富士山麓には風穴を利用した自然の氷室があります。氷室の歴史は仁徳天皇の時代に遡る歴史的な技術です。現在ではもう振り返られ無くなっていた技術をもう一度掘り起こすことは、「懐かしい未来」を創造することなのかもしれません。その飯山の取り組みで活躍したのが下高井農林高校でした。今回も全国から宮城県農業高等学校をはじめ多くの実業系の高校がファイナルまで残って来られました。私は徳島県立の農業高校の学校改革に関わっておりますが実業系高校は歴史的に日本の地方産業の担い手を育てる重要な役割を担ってまいりました。脱炭素化／SDGsの推進に実践で貢献することで、その役割と価値が再認識されてきているように思います。チャレンジカップは賞の授与に終わらず、地方での産業、教育そして自治体が連携して脱炭素へのチャレンジを推進させるアウトカムが重要です。今後の全国での更なる取り組みを共に推進したいと思っております。





# パートナー一覧

- 共催**
  - JNCCA Japan Network for Climate Change Actions
  - 一般財団法人 セブン-イレブン記念財団
- 特別協賛**
  - unicharm ユニチャーム
  - NITORI
  - いのちをつなく SARAYA
- 協賛**
  - 一般社団法人 日本WPA Japan Waterless Printing Corporate Association
  - ユタコロジー株式会社
  - マクドナルド
  - 公益財団法人 SOMPO環境財団
  - WasteBox
  - checkfield 人間性+技術融合 チェックフィールド株式会社
  - 脱炭素化支援株式会社
  - 東部燃焼株式会社
  - ホテルネットワーク mito 株式会社森久
  - 有限会社 アルファサービス
  - 株式会社アクトリー
  - i3 experience
  - TOGA CLEAN SYSTEM
  - 北越コーポレーション株式会社
  - 劇的再生 HIROPIKA
  - Pure Cycle いばらき
- 協力**
  - TAKARA TOMY GROUP
  - alterna
  - Weathercaster Network 気象キャスターネットワーク
  - 木原木材店 北はりま小径木加工センター
  - こどもエコクラ
  - Aine motor school
  - よろこびがつなく世界へ KIRIN
  - 社会福祉法人 幸仁会 川本園
  - エコドライブ研究所 Institute of Ecodrive Consulting
- 後援**
  - 環境省 Ministry of the Environment
  - 文部科学省
  - プラチナ構想ネットワーク
  - 国連広報センター





脱炭素チャレンジカップ

お問い合わせ先

脱炭素チャレンジカップ事務局  
(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-9-12  
九段ニッカナビル7階

TEL: 03-6273-7785 FAX: 03-3263-1010

E-Mail: [zccc@zenkoku-net.org](mailto:zccc@zenkoku-net.org)

Web: <https://www.zenkoku-net.org/datsutanso/>



この印刷物は、FSC® 認証紙を使用し、「水なし印刷」で印刷しています。また、省資源化(フィルムレス)に繋がるCTPIにより製版しています。

